

平成23年8月24日（水）開催

## 総務委員会会議順序

開議時刻 午前10時  
会議室 総務委員会室

### ○ 開 会

#### 1 付託事件

#### 2 協議又は報告事項

- (1) 平成23年9月定例会主要事項について
- (2) 平成23年度総合防災訓練等について
- (3) 水島コンビナート地区に係る防災計画の見直しについて
- (4) 新行政評価制度の導入について
- (5) 第44回（平成23年度）岡山県三木記念賞及び同助成金受賞者の決定と授与式の挙行について
- (6) 特別会計の見直しについて
- (7) 税外滞納債権の状況について
- (8) 個人住民税徴収対策会議の開催について
- (9) 中山間地域等活力創出支援事業の主な実施状況について
- (10) 交流・定住施策の実施状況について
- (11) 平成23年秋の交通安全県民運動の実施について
- (12) その他

### ○ 次回委員会

平成23年9月21日（水） 午前10時～

### ○ 閉 会

平成23年度9月補正予算額一覧表

(単位:百万円)

区 分		既定予算額 (A)	補正予算額		合 計 (A)+(B)	
			(B)	うち防災関連分		
一 般 会 計	A 義務的経費	( 246,414 ) 254,353	( ) 13	( )	( 246,414 ) 254,366	
	B 公 共 事業費	一 般 公 共	( 1,532 ) 26,295	( )	( )	( 1,532 ) 26,295
		災 害 復 旧	( 79 ) 5,646	( )	( )	( 79 ) 5,646
		国 直 轄	( 1,962 ) 8,047	( )	( )	( 1,962 ) 8,047
	C 国庫補助事業費	( 6,829 ) 41,434	( ) 6,081	( ) 89	( 6,829 ) 47,515	
	D 基 準 行 政 運 営 費	人 件 費	( 178,622 ) 218,067	( )	( )	( 178,622 ) 218,067
		運 営 費	( 23,507 ) 27,851	( )	( )	( 23,507 ) 27,851
	E 単県行政施策費	( 31,212 ) 79,272	( 1,404 ) 2,125	( 1,385 ) 1,483	( 32,616 ) 81,397	
	一 般 会 計 の 計	( 490,157 ) 660,965	( 1,404 ) 8,219	( 1,385 ) 1,572	( 491,561 ) 669,184	
	特別会計の計		261,338			261,338
合 計		( 490,157 ) 922,303	( 1,404 ) 8,219	( 1,385 ) 1,572	( 491,561 ) 930,522	
企業会計の計		11,554			11,554	

( )は一般財源

平成23年度9月補正予算額の内訳(一般会計)

(単位:百万円)

区 分	既定予算額 (A)	補正予算額 (B)	うち防災関連分	合 計 (A) + (B)
総 務 部	( 194,464 )	( 1,373 )	( 1,373 )	( 195,837 )
	203,701	1,429	1,429	205,130
県 民 生 活 部	( 8,104 )	( )	( )	( 8,104 )
	11,026			11,026
環 境 文 化 部	( 3,148 )	( )	( )	( 3,148 )
	4,083	148	89	4,231
保 健 福 祉 部	( 85,721 )	( )	( )	( 85,721 )
	117,463	5,992		123,455
産 業 労 働 部	( 5,867 )	( 4 )	( 4 )	( 5,871 )
	16,031	581	4	16,612
農 林 水 産 部	( 16,783 )	( )	( )	( 16,783 )
	37,422			37,422
土 木 部	( 14,927 )	( 19 )	( )	( 14,946 )
	64,558	19		64,577
警 察 本 部	( 40,872 )	( )	( )	( 40,872 )
	45,543			45,543
教 育 委 員 会	( 117,404 )	( 8 )	( 8 )	( 117,412 )
	158,265	50	50	158,315
諸 局	( 2,867 )	( )	( )	( 2,867 )
	2,873			2,873
合 計	( 490,157 )	( 1,404 )	( 1,385 )	( 491,561 )
	660,965	8,219	1,572	669,184

( )は一般財源

平成23年度9月補正予算額款別一覧表

(単位:百万円)

【歳入】

款 別	区 分	既定予算額 (A)	補正予算額 (B)	合 計 (A)+(B)
県	税	188,913		188,913
地方消費税清算金		34,207		34,207
地方譲与税		23,156		23,156
地方特例交付金		2,293		2,293
地方交付税		168,700	1,354	170,054
交通安全対策特別交付金		700		700
分担金及び負担金		5,217		5,217
使用料及び手数料		6,021		6,021
国庫支出金		70,991	5,307	76,298
財産収入		1,291	4	1,295
寄附金		4		4
繰入金		36,996	1,466	38,462
諸収入		12,465		12,465
県債		110,011	88	110,099
合 計		660,965	8,219	669,184

【歳出】

款 別	区 分	既定予算額 (A)	補正予算額 (B)	合 計 (A)+(B)
議会費		1,666		1,666
総務費		40,345	1,577	41,922
民生費		96,817		96,817
衛生費		20,753	5,992	26,745
労働費		8,521	577	9,098
農林水産業費		36,173		36,173
商工費		7,547	4	7,551
土木費		62,231	19	62,250
警察費		45,543		45,543
教育費		170,303	50	170,353
災害復旧費		3,872		3,872
公債費		103,646		103,646
諸支出金		63,348		63,348
予備費		200		200
合 計		660,965	8,219	669,184

平成23年度 9月補正予算額一覧表

(単位:千円)

区 分		既定予算額 (A)	補正協議額	補正予算額 (B)	合 計 (A)+(B)	
一 般 会 計	A 義務的経費	( 174,557,009 ) 177,526,826	( )	( )	( 174,557,009 ) 177,526,826	
	B 公 共 事業費	一般公共	( )	( )	( )	( )
		災害復旧	( )	( )	( )	( )
		国直轄等	( )	( )	( )	( )
	C 国庫補助事業費		( ) 205,097	( )	( )	( ) 205,097
	D 基 準 行 政 運 営 費	人 件 費	( 8,362,621 ) 10,740,001	( )	( )	( 8,362,621 ) 10,740,001
		運 営 費	( 4,070,365 ) 4,215,474	( )	( )	( 4,070,365 ) 4,215,474
	E 単県行政施策費		( 7,473,808 ) 11,014,051	( 1,373,032 ) 1,428,727	( 1,373,032 ) 1,428,727	( 8,846,840 ) 12,442,778
	一般会計の計		( 194,463,803 ) 203,701,449	( 1,373,032 ) 1,428,727	( 1,373,032 ) 1,428,727	( 195,836,835 ) 205,130,176
	特別会計の計		174,287,060			174,287,060
合 計		( 194,463,803 ) 377,988,509	( 1,373,032 ) 1,428,727	( 1,373,032 ) 1,428,727	( 195,836,835 ) 379,417,236	
企業会計の計						

( )は一般財源

平成23年度 9月補正予算額事項別一覧

(単位:千円)

分類	事項名	県庁舎耐震等整備事業費		
E	既定予算額	補正協議額	補正予算額	
	( 0 )	( 9,597 )	( 9,597 )	
	0	19,192	19,192	
説明	1 県庁舎耐震改修等工法検討・改修計画策定事業費 大規模地震等災害発生時の防災拠点となる県庁舎の安全性を確保するために 行う耐震改修、浸水対策に係る工法検討、改修計画策定に要する経費			
分類	事項名	防災対策事業費		
E	既定予算額	補正協議額	補正予算額	
	( 186,179 )	( 1,362,194 )	( 1,362,194 )	
	186,179	1,404,794	1,404,794	
説明	1 自主防災活動総合支援事業費 8,483 (1) 自主防災活動総合支援事業費補助金の拡充に要する経費 4,000 (当初予算 8,450 → 9月補正後 12,450) (2) 県民一人ひとりの防災意識の向上や災害への備えの充実を図るため 4,483 のパンフレット等作成に要する経費 2 被災者生活再建基金拠出金 1,396,311 東日本大震災に係る被災者生活再建支援金の支出に伴う基金への拠出 及び通常災害に備えるための基金への拠出に要する経費 東日本大震災分:542,657 通常災害分 :853,654			
分類	事項名	防災情報ネットワーク高度化事業費		
E	既定予算額	補正協議額	補正予算額	
	( 88,677 )	( 1,241 )	( 1,241 )	
	107,844	4,741	4,741	
説明	1 防災用発電機整備事業費 県立図書館屋上に防災用発電機を整備するための実施設計に要する経費			
E分類計	既定予算額	補正協議額	補正予算額	
	( 7,473,808 )	( 1,373,032 )	( 1,373,032 )	
	11,014,051	1,428,727	1,428,727	
一般会計計	既定予算額	補正協議額	補正予算額	
	( 194,463,803 )	( 1,373,032 )	( 1,373,032 )	
	203,701,449	1,428,727	1,428,727	
特別会計計	既定予算額	補正協議額	補正予算額	
	( )	( )	( )	
	174,287,060			
計	既定予算額	補正協議額	補正予算額	
	( 194,463,803 )	( 1,373,032 )	( 1,373,032 )	
	377,988,509	1,428,727	1,428,727	

( )は一般財源

# 総務委員会資料(Ⅲ)

## 9月定例会主要事項

- 公立大学法人岡山県立大学の業務の実績に関する評価結果  
について P 1
- 公立大学法人岡山県立大学の経営状況について . . . . . P 9

平成23年8月24日

総 務 部

## 公立大学法人岡山県立大学の業務の実績に 関する評価結果について

公立大学法人岡山県立大学の平成22年度における業務の実績に関する評価結果について、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第28条第4項の規定により岡山県地方独立行政法人評価委員会から報告を受けたので、同条第5項の規定に基づき、報告する。

（参考）

地方独立行政法人法抜粋

（各事業年度に係る業務の実績に関する評価）

第28条 地方独立行政法人は、設立団体の規則で定めるところにより、各事業年度における業務の実績について、評価委員会の評価を受けなければならない。

2 前項の評価は、当該事業年度における中期計画の実施状況の調査をし、及び分析をし、並びにこれらの調査及び分析の結果を考慮して当該事業年度における業務の実績の全体について総合的な評定をして、行わなければならない。

3 評価委員会は、第1項の評価を行ったときは、遅滞なく、当該地方独立行政法人に対して、その評価の結果を通知しなければならない。この場合において、評価委員会は、必要があると認めるときは、当該地方独立行政法人に対し、業務運営の改善その他の勧告をすることができる。

4 評価委員会は、前項の規定による通知を行ったときは、遅滞なく、その通知に係る事項（同項後段の規定による勧告をした場合にあつては、その通知に係る事項及びその勧告の内容）を設立団体の長に報告するとともに、公表しなければならない。

5 設立団体の長は、前項の規定による報告を受けたときは、その旨を議会に報告しなければならない。



## 公立大学法人岡山県立大学の平成22年度に係る業務の実績に関する評価結果

### 1 評価対象法人の概要

- (1) 法人名等 総社市窪木111番地 公立大学法人岡山県立大学 理事長 三宮 信夫
- (2) 設立年月日 平成19年4月1日
- (3) 設立団体 岡山県
- (4) 資本金の額 12,091,632,943円
- (5) 中期目標の期間 平成19年度から平成24年度
- (6) 目的及び業務

#### ア 目的

公立大学法人岡山県立大学は、人間を取り囲むさまざまな環境の中で調和のとれた発展を期し、地域の課題や社会の要請に的確に応えるため、「人間・社会・自然の関係性を重視する実学を創造し、地域に貢献する」ことを基本理念とする。

この理念に基づいて、学術の進展と教育の振興を図り、福祉の増進、文化の向上、地域産業の発展等に寄与する研究活動に取り組むとともに、知性と感性を育み、豊かな教養と深い専門性を備えて新しい時代を切り拓く知識と高度な技術を身につけた実践力のある人材を育成する。

#### イ 業務

(ア)岡山県立大学を設置し、これを運営すること。

(イ)すべての学生に対し、修学、進路選択及び心身の健康等に関する相談など学生生活に関する相談その他の援助を行うこと。

(ウ)民間企業や試験研究機関等との間の共同研究や受託研究、技術指導等を実施するなど、法人以外の者と連携して教育研究活動の推進に取り組むこと。

(エ)地域社会に貢献するため、公開講座を開設する等、地域住民に幅広く学習機会を提供するとともに、大学における研究の成果を普及し、及びその活用を促進すること。

(オ)前各号に掲げる業務を効果的かつ効率的に実施するため、附帯して必要となる関連業務を行うこと。

### 2 評価の実施根拠法

地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第28条

### 3 評価の対象

平成22年度における公立大学法人岡山県立大学の中期計画（平成19年度から24年度）の進捗状況

#### 4 評価の趣旨及び評価者

##### (1) 評価の趣旨

地方独立行政法人法の規定に基づき、公立大学法人岡山県立大学（以下「県立大学」という。）が、十分な向上心のもと他の大学の模範となるような業務運営が行えるよう、業務の質の向上、業務運営の効率化、透明性の確保等について自主的、継続的な見直し及び改善を促すことを目的に、岡山県地方独立行政法人評価委員会（以下「評価委員会」という。）が業務の実績評価を行う。

##### (2) 評価委員会

委員名	氏名	役職等
委員長	末長 範彦	岡山県経営者協会会長 岡山トヨペット（株）取締役社長
委員	小田 項一	公認会計士・税理士
委員	清水 富江	（株）ビタポール代表取締役 岡山商工会議所女性会副会長
専門委員 （大学関係）	小池 将文	川崎医療福祉大学教授
専門委員 （大学関係）	高木 孝子	ノートルダム清心女子大学学長

（委員名順、50音順）

#### 5 評価方法の概要

##### (1) 評価基準

公立大学法人岡山県立大学の業務の実績に関する評価の実施基準

##### (2) 評価の手法

公立大学法人岡山県立大学の自己評価の結果を活用する間接評価方式

## 6 評価結果

### (1) 総合的な評定

評価委員会は、県立大学が公立大学法人岡山県立大学の業務の実績に関する評価の実施基準により自己評価し提出した「平成22年度に係る業務の実績に関する報告書」を適正な評価と認め、次のとおり評定した。

県立大学は、人間を取り囲むさまざまな環境の中で調和のとれた発展を期し、地域の課題や社会の要請に的確に応えるため、「人間・社会・自然の関係性を重視する実学を創造し、地域に貢献する」ことを基本理念とし、学術の進展と教育の振興を図り、福祉の増進、文化の向上、地域産業の発展等に寄与する研究活動に取り組むとともに、知性と感性を育み、豊かな教養と深い専門性を備えて新しい時代を切り拓く知識と高度な技術を身につけた実践力のある人材を育成することとしている。

法人化後4年目となる平成22年度は、これまでに確立された機動的・戦略的な運営体制及び理事長のトップマネジメントにより、中期計画の達成に向けて、様々な改革に取り組んでいる姿勢がうかがえた。

国家資格試験においては、引き続き、高い合格率が維持されており、教員の指導の成果が現れている。また、教育の質の改善では、授業評価アンケートや相互授業参観の実施方法を見直し、教員の個人評価制度の確立やシラバスの改善を行うとともに、学期及び休業日の期間についても見直して、平成23年度から授業時間を確保する措置をとるなど改革への取組が行われている。

学生への支援では、就職支援専門委員会を設置し、支援体制を強化するなど、学生のニーズに応じて柔軟な対応を行った結果、景気低迷による雇用情勢が厳しい状況下で、前年度並みの就職率が維持されている。

また、地域貢献では、地域で求められる豊かな知識と確かな技術によりヒューマンケアリングを実施する看護職の専門性をさらに高める「認定看護師教育課程（糖尿病看護分野）」の開設準備を進め、平成23年4月1日に認定看護師教育センターを開設するなど、地域の要請に対応している。

さらには、教員の個人評価制度について、平成23年度からの本格実施に向けて、学内評価委員会で協議を行い、これまでの個人評価の実施基準（試行）を見直し、「教員の個人評価実施要項」を策定し、学内の教育研究活動の活性化に取り組まれている。

一方、推薦入試に係る受験資格については、入学者受入方針に沿って見直しがなされているところであるが、引き続き、入学者受入方針と受験資格の整合性の検討が必要であるなど、更なる努力が必要とされる項目もあった。

最小項目別評価の結果を見ると、129項目中、前年度と比較して評点が上がったものが18項目、逆に下がったものが7項目となっている。

以上全体として、平成22年度は、県立大学が法人化のメリットを生かし、平成19年度より着手した様々な改革を継続し、着実に実行に移している状況が十分見受けられたことから、業務の実績における中期計画の進捗は順調と評定する。

なお、評価委員会としては、県の行財政構造改革大綱に伴う運営費交付金の削減や少子化の影響等による18歳人口の減少など、大学運営を取り巻く環境は、年々、厳しさを増しており、業務運営については、継続的な改善が必要であると考えており、今後とも、理事長のリーダーシップのもと、戦略的な大学経営に取り組まれ、公立大学としての使命を果たされることを期待するものである。

(2) 中期計画の各項目ごとの評定

II 大学の教育研究等の質の向上

ア 評定

中期計画の進捗状況は順調

イ 理由

理事長のトップマネジメントのもと、選択と集中により新たな取組が実施され、着実な成果が見受けられる。

ウ 評価した項目

① 項目数

78項目

② 特筆すべき項目

【教育】

- ・保健福祉学部の第一目標である国家試験合格率で、本年度も看護師国家試験など2国家試験で100%となるなど、全ての国家試験で高い合格率を維持しているとともに、初めて管理栄養士国家試験で計画目標を達成した。
- ・情報工学部では、教育プログラムの整備・点検のための「情報教育検討委員会（単年度組織）」を設置し、情報技術者育成に必要な基本的事項を点検し、学科横断的な教育プログラム（講義科目）を設定した。
- ・デザイン学部では、文部科学省の「大学生の就業力育成支援事業」に『デザイナーの卵』孵化推進教育プログラム』として申請し、採択を得た。
- ・大学院研究科においては、専門分野での高度な知識と応用力を身につけた人材の育成を目指した取組を行った。特に、説明やコミュニケーション能力の醸成を目的に、学会等での研究発表を学生に奨励した。
- ・教育の質の改善では、授業評価アンケートの実施方法の見直しや、相互授業参観を実施するとともに、大学機関別認証評価で指摘されたシラバスを改善し、学期及び休業日の期間を見直して、平成23年度から授業時間を確保する措置をとった。
- ・教員の個人評価制度については、平成23年度からの本格実施に向けて、学内評価委員会で計9回の協議を行い、これまでの個人評価の実施基準（試行）を見直し、「教員の個人評価実施要項」を策定した。

【学生への支援】

- ・学生の就職支援としては、就職支援専門委員会を設置し、支援体制を強化するとともに、就職ガイダンスの実施回数の増加や、希望者を対象にした自己分析検査・就職模擬試験の実施、就活バスの運行、就職相談員による各種相談等、学生のニーズに応じて柔軟な対応を行った結果、景気低迷による雇用情勢が厳しい状況下でも平成22年度の全学就職率は90.4%（21年度90.8%）とほぼ前年度に近い結果を得た。

【地域貢献】

- ・地域共同研究機構と学長との情報交換については、原則、毎週開催する学内理事会で学長と機構長との情報交換を密に行い、地域共同研究機構の機能

強化、運用体制の充実が図られている。

- ・ 県や県看護協会からの要請に応じて「認定看護師教育課程（糖尿病看護分野）」の開設準備を進め、平成23年4月1日に認定看護師教育センターを開設した。

#### 【産学官連携】

- ・ 地域共同研究機構の産学官連携推進センターでは、民間出身の非常勤職員（コーディネーター）が教員のプロジェクトチーム（愛称：MoDD lab）と連携し、平成22年度は11件の提案型共同研究を推進した（平成21年度4件）。
- ・ 大学の研究内容やその実績を学外に広報し、企業との交流を促進するOPUフォーラムは、出展数が過去最大となるなど、地域共同研究機構を中心とした全学的な取組が定着している。

### III 業務運営の改善及び効率化

#### ア 評定

中期計画の進捗状況は順調

#### イ 理由

これまでに構築された機動的運営体制により、戦略的な組織運営に取り組み、簡素で効率的な業務運営に努めた。

#### ウ 評価した項目

##### ① 項目数

25項目

##### ② 特筆すべき項目

- ・ 理事長(学長)及び学部長等を中心とする機動的な運営体制により、戦略的な組織の運営（CC戦略：学内を競争と協働の場として、各教員が教育研究活動に取り組む。）に努めるとともに、「学長メッセージ」や「教員と学長との懇談会」を通じて学内に経営戦略の浸透が図られた。  
また、各種経費の削減を行う中で、学長査定による学内競争的研究費（特別研究費）により選択と集中の予算配分を行った。
- ・ 教員の個人評価制度の本格実施に併せて、教員の教育、研究、地域貢献等の活動がより効率的かつ効果的に実施できるよう一律に裁量労働制を導入し、また、外部資金等により雇用する特任教員の任用に係る給与制度として、業務内容や能力を考慮し個別契約を行う年俸制を整備し、平成23年度から適用した。

### IV 財務内容の改善

#### ア 評定

中期計画の進捗状況は順調

イ 理由

自己収入の増加を図るため、外部資金獲得に務めるとともに、経費の抑制に努めている。

ウ 評価した項目

① 項目数

16項目

② 特筆すべき項目

- ・文部科学省科学研究費補助金の新規採択率は24%（前年27%）と前年を少し下回ったが、継続取得分を併せた取得件数は45件（+3件）と、過去最高となった。この結果は、採択教員の研究費増加だけでなく、大学の研究活性化に資するものである。
- ・共同研究費、受託研究費等の外部資金獲得では、共同研究33件（前年31件）、受託研究26件（同45件）、教育研究奨励寄付金に係る研究32件（同25件）と3研究費全体として前年をわずかに下回ったが、目標件数は達成している。
- ・その他の自己収入の確保策として、平成23年度からの認定看護師教育課程の設置に伴い、授業料や入学金等について所要経費を考慮し、適正な料金の上限額を設定したほか、公開講座等の受講に係る講習料の上限額が設定された。
- ・経費の節減を図るため、エネルギー使用量について、部局長会議を通じて、定期的にエネルギーの使用実績を公表する等、全学的な省エネの啓発に努め、平成22年度は記録的な猛暑により夏季の使用量が13%増えたものの、年間を通じては4%増に抑制した。

V 自己点検・評価及び改善並びに当該情報の提供

ア 評定

中期計画の進捗状況は順調

イ 理由

認証評価で指摘された改善を要する点について、早期に対応が行われている。

ウ 評価した項目

① 項目数

4項目

② 特筆すべき項目

- ・大学機関別認証評価で、改善を要する点として指摘された「保健福祉学研究科（博士後期）の入学定員充足率が著しく超過（2.33倍）」については、入学定員の適正化を検討し、博士後期課程全体で入学定員3名を5名に増員し、23年度入学からの適用がなされた。

## VI その他業務運営に関する重要事項

### ア 評定

中期計画の進捗状況は順調

### イ 理由

施設・設備の改善に取り組むとともに、省エネルギー対策に努めた。

### ウ 評価した項目

#### ① 項目数

6項目

#### ② 特筆すべき項目

- ・省エネルギー対策として、保健福祉学部棟のガラスコーティング工事では、エネルギー使用の効率化が図れる工法を採用したほか、年間を通じて、日曜・祝日の空調運転を停止するなど、光熱費削減のための方策を実施した。
- ・緊急性・重要性を考慮した緊急修繕計画を策定し、施設・設備の改修を実施した。

### (3) 評価結果等の業務運営への活用状況

- ・推薦入試に係る受験資格を見直した。また、保健福祉学科では、面接試験の方法を見直し、より客観的で統一的なものとした。
- ・大学事務経験者をプロパー職員として、引き続き、採用した。
- ・就職支援専門委員会を設置するなど支援体制を強化し、景気低迷による雇用情勢が厳しい状況下で、ほぼ前年度に近い就職率を確保した。
- ・一律に裁量労働制を導入することとし、それに伴う教員の個人評価は適正に行うこととした。

### (4) 公立大学法人岡山県立大学に対する勧告等

該当無し

公立大学法人岡山県立大学の経営状況について

【概況】

団体の基本情報 (H23.4.1現在)					
名称	公立大学法人岡山県立大学		事務所の所在地	総社市窪木111番	
代表者	理事長 三宮 信夫		設立年月日	平成19年4月1日	
基本財産	12,091,633千円	うち県出資金	12,091,633千円	県出資比率	100%
役員	7人	職員	397	決算時期	3月
設立目的	この公立大学法人は、大学を設置し、及び管理することにより、他の教育研究機関及び地域社会との自由かつ緊密な交流連携のもとに、人間・社会・自然の関係性を重視する実学を教授研究するとともに、知性と感性を育み、豊かな教養と深い専門性を備えて新しい時代を切り拓く人材の育成を図り、もって学術文化の進展及び地域産業の振興に寄与することを目的とする。				
主な事業	(1) 県立大学を設置し、これを運営すること。 (2) 学生に対し、修学、進路選択及び心身の健康等に関する相談その他の援助を行うこと。 (3) 法人以外の者から委託を受け、又はこれと共同して行う研究の実施その他の法人以外の者との連携による教育研究活動を行うこと。 (4) 公開講座の開設その他の学生以外の者に対する学習の機会を提供すること。 (5) 県立大学における研究の成果を普及し、及びその活用を促進すること。 (6) 前各号の業務に附帯する業務を行うこと。				

経営実績と財産の状況 (単位:千円)						
	H18	H19	H20	H21	H22	H23(予算)
当期収入 A		3,942,194	3,550,018	3,334,921	3,472,223	3,470,500
うち県支出金 B		2,311,820	2,168,564	1,911,833	1,961,698	2,104,856
県支出金の割合 (B/A)		58.6%	61.1%	57.3%	56.5%	60.6%
当期支出 C		3,644,829	3,465,711	3,315,254	3,462,704	3,470,500
当期収支差額 (A-C)		297,365	84,307	19,667	9,519	0
総資産 D		12,242,329	12,324,782	12,180,315	11,960,748	
主なもののうち						
土地・建物		9,595,138	9,524,628	9,423,925	9,261,154	
現金預金		968,482	1,111,861	894,195	879,982	
総負債 E		2,354,350	2,756,310	2,784,934	2,792,936	
うち運営費交付金債務等		192,050	278,325	210,059	143,158	
正味財産 F=D-E		9,887,979	9,568,472	9,395,381	9,167,812	
出資財産等 G		9,590,614	9,186,800	8,994,041	8,809,423	
内部留保等 (F-G)		297,365	381,672	401,340	358,389	
経営実績と財産の状況についての評価	平成22年度は県立大学が、法人化のメリットを生かし、平成19年度より着手した様々な改革を継続し、着実に実行している状況が十分見受けられたことから、業務の実績における中期計画の進捗は順調と評価できる。					

役員職員の状況						
	H18	H19	H20	H21	H22	H23
役員	総数		7	7	7	7
	常勤		4	4	4	4
	うち県派遣職員		0	0	0	0
	非常勤		3	3	3	3
	うち県職員		0	0	0	0
職員	総数		392	379	395	385
	常勤		198	197	192	199
	うち県派遣職員		35	33	31	29
	非常勤		194	182	203	186
						199

岡山県からの支出の状況 (単位:千円)						
	H18	H19	H20	H21	H22	H23(予算)
県支出金(再掲)		2,714,698	2,446,889	2,122,393	2,104,856	2,104,856
内訳	運営費交付金		2,503,870	2,446,889	2,121,893	2,104,856
	学術振興基金造成補助金		210,828			
	子育て大学・地域タイアップ事業費補助金				500	
	その他					
長期貸付金(年度末残高)						
損失補償限度額						
損失補償契約に係る債務残高						
債務保証限度額						
債務保証契約に係る債務残高						



平成22年度公立大学法人岡山県立大学事業実績書

(単位：千円)

事業名	事業の概要	事業費
岡山県立大学事業	<p>1 大学の教育研究等の質の向上</p> <p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健福祉学部の第一目標である国家試験合格率で、本年度も看護師国家試験など2国家試験で100%となるなど、全ての国家試験で高い合格率を維持しているとともに、初めて管理栄養士国家試験で計画目標を達成した。</li> <li>・情報工学部では、教育プログラムの整備・点検のための「情報教育検討委員会」を設置し、情報技術者育成に必要な基本的事項を点検し、学科横断的な教育プログラムを設定した。</li> <li>・デザイン学部では、文部科学省の「大学生の就業力育成支援事業」に『『デザイナーの卵』孵化推進教育プログラム』として申請し、採択を得た。</li> <li>・大学院研究科においては、特に説明やコミュニケーション能力の醸成を目的に、学会等での研究発表を学生に奨励した。</li> <li>・教育の質の改善では、授業評価アンケートの実施方法の見直し等とともに、大学機関別認証評価で指摘された「シラバス」を改善し、学期及び休業日の期間を見直して、授業時間を確保する措置をとった。</li> <li>・教員の個人評価制度については、23年度からの本格実施に向けて、「教員の個人評価実施要項」を策定した。</li> </ul> <p>【学生への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職支援専門委員会を設置し、支援体制を強化するとともに、就職ガイダンスの実施回数の増加や、希望者を対象にした自己分析検査・就職模擬試験の実施等、学生のニーズに応じて柔軟な対応を行った結果、景気低迷による雇用情勢が厳しい状況下でも、全学就職率は90.4%（21年度90.8%）とほぼ前年度に近い結果を得た。</li> </ul> <p>【地域貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県や県看護協会からの要請に応じて「認定看護師教育課程（糖尿病看護分野）」の開設準備を進め、平成23年4月1日に認定看護師教育センターを開設した。</li> </ul> <p>【産学官連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域共同研究機構の産学官連携推進センターでは、民間出身の非常勤職員（コーディネーター）が教員のプロジェクトチーム（愛称：MoDD lab）と連携し、22年度は11件の提案型共同研究を推進した。（21年度4件）</li> </ul> <p>2 業務運営の改善及び効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長(学長)及び学部長等を中心とする機動的な運営体制により、戦略的な組織の運営（CC戦略）に努めるとともに、「学長メッセージ」や「教員と学長との懇談会」を通じて学内に経営戦略の浸透が図られた。</li> <li>・教員の個人評価制度の本格実施に併せて、教員の教育、研究、地域貢献等の活動がより効率的・効果的に実施できるよう一律に裁量労働制を導入し、また、外部資金等により雇用する特任教員の任用に係る給与制度として、業務内容や能力を考慮し個別契約を行う年俸制を整備し、23年度から適用した。</li> </ul> <p>3 財務内容の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省科学研究費補助金の新規採択率は24%（前年27%）と前年を少し下回ったが、継続取得分を合わせた取得件数は45件（+3件）と、過去最高となった。</li> <li>・共同研究費等の外部資金獲得では、共同研究33件（前年31件）、受託研究26件（同45件）、教育研究奨励寄付金に係る研究32件（同25件）と3研究費全体として前年をわずかに下回ったが、目標件数は達成している。</li> </ul> <p>4 自己点検・評価及び改善並びに当該情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学機関別認証評価で、改善を要する点として指摘された「保健福祉学研究科（博士後期）の入学定員充足率が著しく超過（2.33倍）」については、入学定員の適正化を検討し、博士後期課程全体で入学定員3名を5名に増員し、23年度入学からの適用がなされた。</li> </ul>	3,420,946

平成22年度公立大学法人岡山県立大学貸借対照表及び損益計算書

1 貸借対照表

平成23年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
1 固定資産		3 固定負債	
(1)有形固定資産		資産見返負債	1,884,036,019
土 地	3,962,416,334	長期寄附金債務	214,312,840
建築物	5,298,737,283	長期未払金	108,885,335
構築物等	179,320,116	固定負債合計	2,207,234,194
機械装置等	223,951,637		
図書等	1,163,324,193	4 流動負債	
有形固定資産合計	10,827,749,563	運営費交付金債務	53,726,549
		寄附金債務等	24,808,998
(2)無形固定資産		未払金	474,871,914
ソフトウェア	23,534,237	預り金等	32,293,712
電話加入権等	1,990,856	流動負債合計	585,701,173
無形固定資産合計	25,525,093	負債合計	2,792,935,367
(3)投資その他の資産		資本の部	
長期性預金	222,304,396	5 資本金	
投資その他の資産合計	222,304,396	地方公共団体出資金	12,091,632,943
固定資産合計	11,075,579,052	資本金合計	12,091,632,943
2 流動資産		6 資本剰余金	
現金及び預金	879,981,960	資本剰余金	6,096,000
未収入金等	3,490,894	損益外減価償却累計額(△)	△ 3,288,305,698
たな卸資産	1,695,825	資本剰余金合計	△ 3,282,209,698
流動資産合計	885,168,679		
		7 利益剰余金	
		目的積立金	340,878,343
		積立金	7,991,556
		当期末処分利益	9,519,220
		利益剰余金合計	358,389,119
		資本合計	9,167,812,364
合 計	11,960,747,731	合 計	11,960,747,731

2 損益計算書

自 平成22年 4月 1日  
至 平成23年 3月31日  
(単位：円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
経常費用	3,462,703,424	経常収益	3,419,752,114
業務費	576,052,025	運営費交付金収益	1,961,698,165
教育費	267,878,462	授業料収益	977,906,050
研究費	67,725,995	入学金収益	124,944,600
教育研究支援経費	45,051,763	検定料収益	56,953,200
受託研究業務費	5,561,948	受託研究等収益	46,221,838
受託事業費	28,945,466	寄附金収益	11,645,138
教職員人件費	1,825,597,388	補助金等収益	16,149,202
一般管理費	389,108,245	資産見返負債戻入	166,346,948
財務費用	254,387,853	財務収益	577,855
当期総利益	2,394,279	雑	57,309,118
	9,519,220	目的積立金取崩額	52,470,530
合計	3,472,222,644	合計	3,472,222,644

平成23年度公立大学法人岡山県立大学事業計画書

(単位：千円)

事業名	事業の概要	事業費
岡山県立大学事業	<p>1 大学の教育研究等の質の向上</p> <p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方法では、7つのカテゴリーにより進めてきた全学教育の成果を検証し、次期中期計画に向けて、その方向性を検討する。</li> <li>・連携大学院方式の実績を点検し、その効果及び必要性を検証する。</li> <li>・「教育の質の改善」のための各種取組を支援するとともに、その実施状況について、評価委員会が中心となり、常に点検を行う。</li> <li>・相互授業参観の実施方法を改善するとともに、授業改善やキャリア教育をテーマに、学外講師により研修会を開催する。</li> </ul> <p>【学生への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップの意義、重要性等について学生への周知を図るとともに、インターンシップへの参加を希望する学生の主体的な取組を支援する。</li> <li>・就職支援専門委員会において、雇用情勢や学生のニーズを踏まえ、就職活動の効果的な支援について検討し、対策を講じる。</li> </ul> <p>【研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「領域・研究プロジェクト」では、平成22年度に集約再編した3領域の下で研究を推進する。プロジェクトの採択では、これまでの学内公募に産学官連携推進センターからの提案を加えるとともに、集中的な支援を行うことを目的に、採択件数を5プロジェクト程度に絞り込む。</li> <li>・領域・研究プロジェクトの推進、更なる活性化を目指し、学内特別研究費等により、プロジェクトの支援を推進する。</li> </ul> <p>【地域貢献、産学官連携、国際交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の基本理念「実学を創造し、地域に貢献する」に対する学内の認識を深め、教職員の協力の下、地域共同研究機構の機能強化及び活性化を図る。</li> <li>・平成22年度の準備・計画に基づき、地域共同研究機構に「認定看護師教育センター」を開設し、認定看護師教育課程を開講する。</li> <li>・保健福祉推進センターでは、第一線で活躍している保健福祉分野の専門職を対象に研究会を開催するとともに、総社市等と協力しながら「県立大学子育てカレッジ」の一層の充実に努める。</li> <li>・地域共同研究機構の活動において、デザイン分野を担ってきた「メディアコミュニケーション推進センター」の今後の組織体制を検討する。</li> <li>・中国東北師範大学と大学間協定の締結を目指すとともに、新たな交流協定候補校の情報収集を継続する。</li> </ul> <p>2 業務運営の改善及び効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度からの第2期中期計画の基本となる経営方針（方向性）を検討する。そのため、平成20年度に設定した経営戦略「CC戦略」（学内を競争（competition）と協働（collaboration）の場と位置づけ、競争意識をもって各教員が教育研究活動に取り組むとともに、異なる専門分野の協働作業を促進させる戦略）の効果を検証する。</li> <li>・本格運用となる「教員の個人評価」を円滑に実施し、課題等の把握に努める。</li> </ul> <p>3 財務内容の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研究資金の獲得に向け、「社会活動委員会」等において、教員の意識向上を図るとともに、文部科学省「科学研究費補助金」の未獲得教員を対象に、学長による個別指導を行う。また、文部科学省「科学研究費補助金」に関する教員の意識向上を目的に、研修会を企画する。</li> </ul> <p>4 自己点検・評価及び改善並びに当該情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人運営に係る各種情報の提供について、これまでどおり継続的な点検・見直しを行う。特にホームページについては、制作から3年が経過することから、構成や内容を見直し、受験生や地域の方々に、より分かりやすいものとなるように努める。</li> </ul>	3,470,500

平成23年度公立大学法人岡山県立大学収支予算書

(単位：千円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	予 算 額			科 目	予 算 額		
	23年度	22年度	増△減		23年度	22年度	増△減
教育研究経費	812,894	793,902	18,992	運営費交付金	2,104,856	2,104,856	0
教育経費	522,610	514,764	7,846	自己収入	1,164,931	1,113,322	51,609
研究経費	243,940	232,726	11,214	授業料	944,890	919,973	24,917
教育研究支援経費	46,344	46,412	△ 68	入学金	110,616	108,664	1,952
人件費	2,152,106	2,228,181	△ 76,075	検定料	51,612	51,296	316
役員人件費	29,231	28,784	447	その他	57,813	33,389	24,424
教員人件費	1,724,333	1,839,678	△ 115,345	受託研究等収入及び	81,000	81,000	0
職員人件費	398,542	359,719	38,823	寄附金収入			
一般管理費	424,500	382,417	42,083	目的積立金取崩収入	119,713	186,322	△ 66,609
受託研究等経費及び 寄附金事業費等	81,000	81,000	0				
合 計	3,470,500	3,485,500	△ 15,000	合 計	3,470,500	3,485,500	△ 15,000

## 平成23年度総合防災訓練等について

8月30日（火）から9月5日（月）までの防災週間において、総合的な防災体制の充実強化と県民の防災意識の高揚を図るため、訓練や啓発活動を実施する。

なお、今年度の総合防災訓練は、岡山県と岡山市・倉敷市・備前市・瀬戸内市の四市が同一想定で連携した訓練を行う。

### 1 総合防災訓練について

#### (1) 目的

巨大地震の発生を想定し、地域住民と防災関係機関等が一体となった実践的訓練を実施することにより、県民・市民の防災意識の高揚と災害予防力の向上及び防災関係機関等の総合化された災害応急対応力の向上を図るとともに現行地域防災計画等の修正・見直し等の参考とする。

本訓練を県民・市民及び防災関係機関等が心を一つにして「安全・安心の岡山の実現に向けて巨大地震に立ち向かう第一歩」とする。

#### (2) 実施日時

平成23年9月4日（日）

- 実動訓練 9時40分～12時30分
- 体験・展示 9時20分～12時00分

#### (3) 実施場所

- ア 岡山県・岡山市 : 岡山操車場跡地
- イ 倉敷市 : 黒崎中学校及びその周辺地区
- ウ 備前市 : 岡山セラミックスセンター北広場及びその周辺地区
- エ 瀬戸内市 : 牛窓中学校及びその周辺地区
- ※ 県知事は、岡山操車場跡地での訓練に参加

#### (4) 提唱

岡山県防災会議 岡山市防災会議  
倉敷市防災会議 備前市防災会議 瀬戸内市防災会議

#### (5) 参加団体等

約160団体・約1,400名

(車両：約110台、ヘリコプター：9機、航空機：1機、輸送艇・巡視艇：3隻)

#### (6) 想定

- 平成23年9月4日午前9時42分、和歌山県南方沖を震源域とするマグニチュード9.0の東海・東南海・南海の三連動地震が発生
- 県内では震度6弱以上を観測、県南部では被害の発生が相次ぎ、沿岸部では4m以上の大津波が到達

(7) 主な訓練内容等

- ア 津波被害想定地域における住民の避難訓練【倉敷市・備前市（津波避難ビルを活用）・瀬戸内市】
- イ ヘリコプター等を活用した情報の収集・映像伝送訓練
- ウ 被災者救出・応急対応訓練
  - ドクターヘリによるDMAT派遣【備前市】
  - 陸上自衛隊自走架柱橋を利用した緊急交通路の確保、救援物資等の輸送
  - 孤立化地区・島からの救出・救命・救護【倉敷市・備前市・瀬戸内市】
  - ヘリコプターによる津波避難ビルからの救出【備前市】
  - 海上保安部巡視艇と海・空自衛隊救難ヘリコプターとの連携による津波漂流者の救出【備前市・瀬戸内市】
  - 負傷者大量発生事態における緊急対処  
負傷者の救出・トリアージ（治療優先順位付け）・応急措置、除染、負傷者の救護所への搬送等、交通規制、
- エ 被災者支援訓練（炊き出し、断水地域への給水等）
- オ ライフラインの応急復旧訓練
- カ 自助・共助訓練  
放射線量の測定、土嚢作製、鳥取県災害応援隊の支援による応急担架作製・担架搬送・ロープワーク、自動体外式除細動器（AED）、飯ごう炊飯、簡易トイレの組み立て、ハザードマップの確認、起震車による震度体感、災害用伝言ダイヤル・iモード災害用伝言板による安否確認
- キ 東日本大震災派遣活動の紹介（陸上自衛隊化学防護隊によるモニタリング等）

※ 【 】内は、訓練を実施する市・場所を表示。表示のないものは岡山操車場跡地で実施。

(8) 中止の連絡

気象状況等により訓練を中止する場合も想定されますので、当日のお問い合わせは、午前6時30分以降に危機管理課（086-226-7385, 7293）までお願いします。県（危機管理課）のホームページ（岡山県総合防災情報システム「お知らせ」欄等）にも掲載します。

2 普及・啓発活動の実施について

	行事名	月 日	場 所	概 要	備 考
備前局	防災パネル展	9月10日	児島湖流域下水道浄化センター	パネル・グッズ展示 パンフレット配布 等 保存食試食	玉野市と共同で実施
備中局	防災パネル展	8月30日 ～9月4日	倉敷商店街 (びろ憩いの広場)	パネル・グッズ展示 パンフレット配布 等	
	ラジオ広報		F Mくらしき	防災週間の周知・啓発	
美作局	消防・防災展	8月27日 ～8月28日	イオン津山	災害写真、非常持出品の展示、パンフレット配布等	津山市、津山圏域消防組合と共同で実施

その他、街頭啓発、庁舎へ懸垂幕の掲示、広報車による啓発等を実施

【参考】「防災週間」、「防災の日（9月1日）」について

「防災の日（9月1日）」は、関東大震災の発生日にちなんで、地震等の災害に対する日頃の備えの重要性などを周知するため、昭和35年に制定され、この日を含む前後一週間が「防災週間」として定められている。

## 水島コンビナート地区に係る防災計画の見直しについて

### 1 コンビナート防災体制

#### (1) 法体系と規制

石油コンビナート等災害防止法（石災法）により、コンビナート地区（特別防災区域）において、石油等を一定量以上貯蔵又は取り扱う事業所（特定事業所）に対する保安上の規制を行うとともに、事業所及び行政機関等による災害防止のための総合的な施策推進を図る。

また、消防法（石油等の危険物）、高圧ガス保安法、毒物及び劇物取締法（毒劇法）等に基づき、関係行政機関が規制・指導等を行うことにより安全確保を図る。

#### (2) 行政機関の主な役割

国：施設等の保安基準・指針等の策定、海上災害対策、労働災害対策

県：石油コンビナート等防災本部の運営、高圧ガス保安法、毒劇法に基づく規制・指導

市：事業所防災体制の指導監督、消防法に基づく規制・指導、消火・救急活動、避難勧告

#### (3) 事業所の主な役割

- ・法令等に基づく施設設置・変更等の申請・届出
- ・保安規程の策定その他自主保安対策の実施
- ・自衛防災組織、共同防災組織の設置運営及び異常現象（事故等）の通報

#### (4) 石油コンビナート等防災本部

##### ① 構成・役割

知事を本部長とし、国・県・市の関係機関、特定事業所等による協議会、防災関係機関等を本部員とする組織で、石災法に基づきコンビナート防災に関する総合的な施策を推進する。

##### ② 事業

石油コンビナート等防災計画の作成・見直し、コンビナート総合防災訓練実施、防災に関する調査研究の推進、災害が発生した場合に国の行政機関等との連絡調整等を行う。

### 2 岡山県石油コンビナート等防災計画（水島地区）

#### (1) 目的・方針

石災法に基づき、岡山県石油コンビナート等防災本部が、水島コンビナート地区に係る災害の未然防止又は発生した災害の拡大防止のため、関係機関の役割明確化と連携推進を図り、もって住民を災害から保護する目的で作成している。

基本方針として、①関係事業所は災害の発生及び拡大防止に第一次的責任を有する ②災害防御の主眼は住民の安全対策を優先に行う ③防災関係機関は相互連携を密にする と規定。

なお、コンビナート地区は、地域防災計画の範囲外として、本計画で取り扱うこととされる。

#### (2) 構成

石災法に基づき、本計画では主に以下の事項について定めている。

- ① 総論：目的・基本方針、地区の現況、関係機関の役割分担
- ② 災害予防計画：行政機関の指導・監督、関係事業所の予防対策（物質別・災害別等）
- ③ 災害基本想定：火災、爆発、有毒ガス漏洩、流出油、地震、津波、高潮



- ④ 災害応急対策：防災組織、連絡通報、災害別応急対策、救助・保護(避難含む)、応援要請
- ⑤ 災害復旧：基本方針、公共施設の災害復旧

### (3) 地震等への対応

本計画においては、東南海・南海地震の想定（M8.6、震度5強～6弱、津波浸水深さ2m以下など）等のもとに、地震や津波による施設被害や火災等の二次被害を想定し、これに対する応急対策、防災体制等を定めている。

なお、施設の耐震設計は消防法、高圧ガス保安法等の個別法で定める基準によるものとされており、今後、東日本大震災を踏まえて耐震基準が見直しされるものと考えられる。

### (4) 計画の見直し

石炭法の定め（科学的知見に基づく調査、予測及び評価を行い毎年検討を加え、必要があると認めるときはこれを修正しなければならない）に基づき、毎年関係機関に協議し必要な見直しを行っている。

## 3 本年度の計画見直し

### (1) 見直し方針

本年度は、特定事業所へのアンケート調査により、地震・津波等に対する設備の安全性や従業員等の避難計画の現状と課題を把握するとともに、東日本大震災によるコンビナート被害情報、県独自の津波想定等を踏まえて、ソフト対策を中心に見直しを検討する。

ハード対策の見直しは、今後、国が示す3連動地震の災害想定や東日本大震災を踏まえた対策等に基づき、来年度以降に行うこととする。

災害想定、避難対策等については、県・倉敷市の地域防災計画との整合を図る。

### (2) 主な見直し項目

災害予防計画、災害基本想定、災害応急対策、り災者救助・保護計画（避難等）等のうち、地震・津波に関する事項を中心に見直す。

### (3) アンケートの実施

計画見直しに当たり、特定事業所（水島コンビナート地区保安防災協議会会員）の地震・津波対策の現状等を把握するため、倉敷市と共同で実施している。

[調査事項] 地震計等の整備状況、地震動・液状化・津波への対策の現状についてソフト・ハード両面から調査

## 4 見直しスケジュール

7月～8月	事業所アンケート実施
9月中	事業所アンケートとりまとめ
10月～11月	関係機関等との協議 専門家（学識経験者）からの意見聴取
12月	計画修正案の策定
1～2月	修正案について関係機関等へ意見照会
3月	岡山県石油コンビナート等防災本部員会議を開催し修正計画を決定 県議会へ報告、HP等で公表

※ WG（県・倉敷市の消防保安、危機管理担当職員等）により具体的な検討作業を進める。

## 5 その他

福山・笠岡地区コンビナート等防災計画については、広島・岡山両県の関係機関で構成する協議会により策定・見直しを行っているため、今後、水島地区を参考に見直しを進めるべく広島県と協議していく。

## 新行政評価制度の導入について

これまで以上に適切なPDCAサイクルを確立し、効率的で効果的な行政運営や、県民の視点に立った成果重視の県政を推進するため、新たな行政評価制度を導入する。

### 1 新行政評価制度のねらい

#### (1) PDCAサイクルの確立

県の行政活動全般を評価できるように対象を拡大するとともに、政策・施策・事務事業を体系化し、各評価を連携させることにより、これまで以上に適切なPDCAサイクルを確立し、効率的で効果的な行政運営や、県民の視点に立った成果重視の県政の推進を図る。

#### (2) 第3次おかやま夢づくりプラン（仮称）の効果的な推進

特に、夢づくりプランの進捗状況を適切に把握した上で、夢づくりプランに掲げる各戦略プログラム等の達成に向けた施策の重点化等を行うことにより、夢づくりプラン全体の総合的、効果的な推進を図る。

#### (3) 説明責任の徹底及び県政の客観性・透明性の向上

県が実施した政策・施策・事務事業の内容や成果を県民に分かりやすく示すことにより、説明責任の徹底を図るとともに、県による評価結果を踏まえ、県政の実施内容等について意見を頂く第三者評価を行い、今後の取組に生かしていくことにより、県政の客観性や透明性の向上を図る。

#### (4) 職員の意識改革及び政策形成能力の向上

目的意識やコスト意識の高揚、成果主義の定着等、職員の意識改革を図るとともに、成果や課題を把握し、今後の取組に生かしていくPDCAサイクルを徹底することにより、政策形成能力の向上を図る。

### 2 新行政評価制度の概要

別紙のとおり

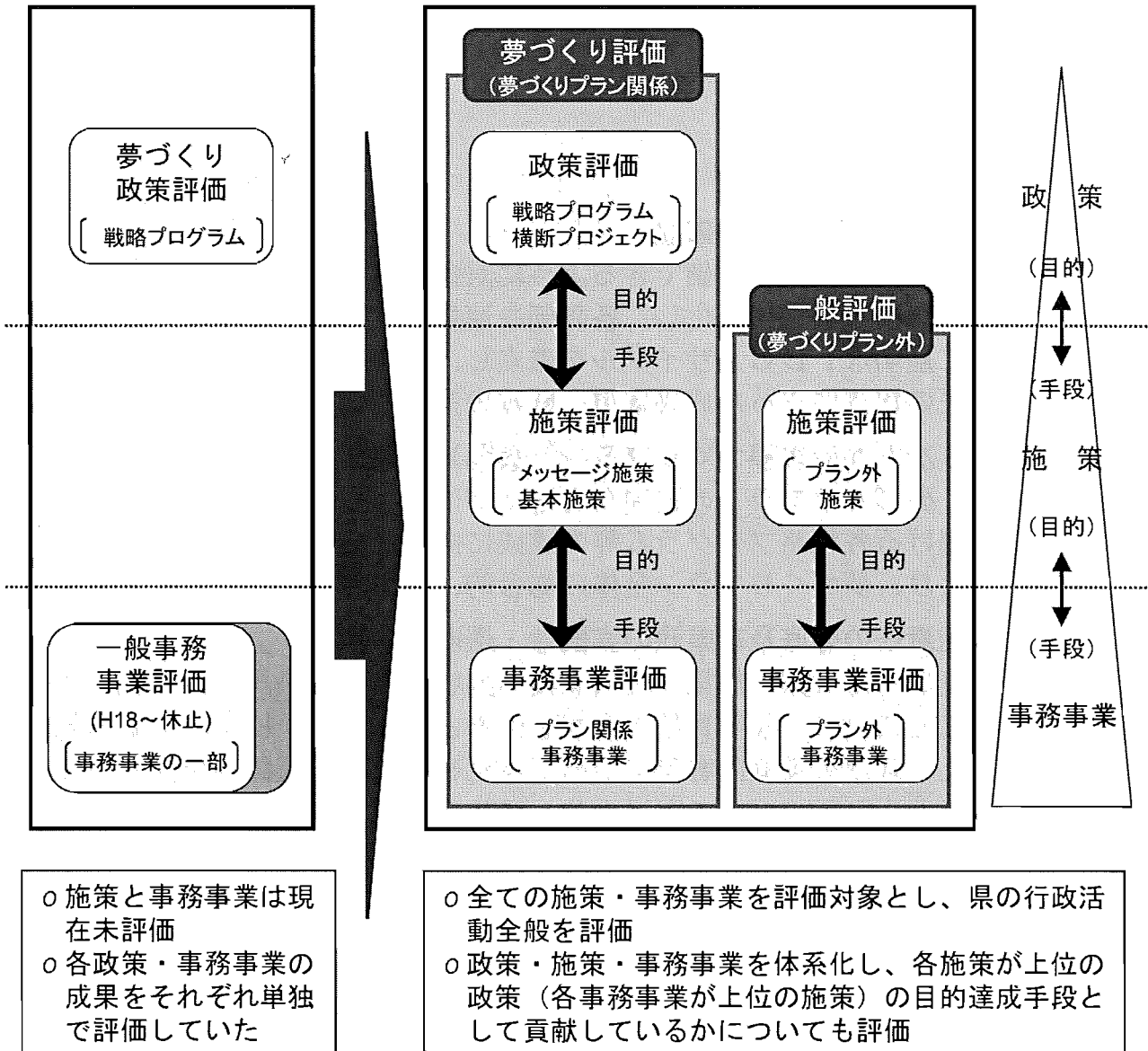
### 3 スケジュール

今後、試行を経て実施手法等の詳細を固め、平成24年度の第3次おかやま夢づくりプラン（仮称）のスタートに合わせて、夢づくり評価から順次運用を開始する。

## 新行政評価制度の概要

現在の行政評価制度

新たな行政評価制度



※ その他の評価については引き続き実施する。

- ・ 公共事業評価
- ・ 大規模施設建設事業評価
- ・ 試験研究機関の外部評価

## (1) 夢づくり評価

第3次おかやま夢づくりプラン（仮称）に沿って政策・施策・事務事業を体系化し、それぞれ政策評価・施策評価・事務事業評価を実施する。

### ① 政策評価

夢づくりプランで掲げた各戦略プログラム及び基本戦略横断プロジェクトの進捗状況や今後の政策推進に向けた課題を把握し、重点化すべき政策・施策の決定や夢づくりプランの改訂（施策や指標の見直し）につなげる。

### ② 施策評価

戦略プログラム等を構成する各施策の成果や今後の施策推進に向けた課題を把握するとともに、戦略プログラム等で掲げる政策の推進に対する貢献度を評価し、重点化すべき施策の決定や夢づくりプランの改訂、施策内での事務事業の重点化や見直しにつなげる。

### ③ 事務事業評価

施策を構成する各事務事業に要した総コストや成果をその把握した上で、実施手法の効率性等を評価するとともに、施策の推進に対する貢献度も評価し、事務事業の改廃や仕事のやり方改善、職員の意識改革につなげる。

## (2) 一般評価

夢づくりプランに掲げた戦略プログラム等に直接関連しない施策・事務事業についても体系化を行い、施策評価・事務事業評価を行う。

## (3) その他の評価

実施期間が長期に渡る公共事業や、建設後の施設のライフサイクルについての考慮が必要な大規模施設建設事業、試験研究機関の運営体制や研究活動に対する評価については、特別な視点が必要とされることから、上記(1)及び(2)とは別の評価として、引き続き実施する。

# 総務委員会資料(Ⅳ)

- 第44回(平成23年度)岡山県三木記念賞及び同助成金受賞者 P 1  
の決定と授与式の挙行について
- 特別会計の見直しについて . . . . . P 7
- 税外滞納債権の状況について . . . . . P 9
- 個人住民税徴収対策会議の開催について . . . . . P 11

平成23年8月24日

総 務 部

## 第44回（平成23年度）岡山県三木記念賞及び同助成金 受賞者の決定と授与式の挙行について

### 1 事業の概要及び経過

#### (1) 岡山県三木記念事業

故岡山県知事三木行治氏が受賞されたマグサイサイ賞の賞金を原資として広く一般から浄財を募り、岡山県三木記念事業基金を設け、同氏の業績をたたえるとともに、その人間愛に満ち公共奉仕に徹した精神を生かす目的で、地域社会の発展に貢献した者を顕彰し（個人）又は助成する（団体）ものである。

なお、昭和43年が第1回であり、本年度が第44回である。

#### (2) 受賞者決定までの経過

- ・ 4月12日（火） 実施要領発表
- ・ 5月16日（月） 推薦締切り <候補者（団体）数>

三木記念賞の部	10人
三木記念助成金の部	13団体

- ・ 6月30日（木） 第1回運営審議会……受賞候補者選考の諮問
- ・ 7月25日（月） 第2回運営審議会……受賞候補者の選考及び答申

### 2 第44回（平成23年度）岡山県三木記念賞及び同助成金受賞者

#### (1) 岡山県三木記念賞（表彰状・メダル及び賞金30万円）

氏名	年齢	役職等
こだに しんぞう 小谷 眞三	81	ガラス工芸家
ながやまかつみ 永山 克巳	82	元岡山県医師会会長
なんば まさよし 難波 正義	76	新見公立大学・新見公立短期大学学長

#### (2) 岡山県三木記念助成金（表彰状及び助成金50万円）

団体名	代表者
岡山県少年少女合唱連盟	理事長 棚田 国雄
国際貢献大学校運営機構	理事長 的野 秀利

### 3 授与式

- (1) 日時 平成23年9月2日（金）午前11時から
- (2) 場所 岡山市中区古京町1-1-10  
岡山衛生会館「5階中ホール」

# 三木記念賞

倉敷市粒江

こだに しんぞう

小谷 眞三 (81歳)

## 1 主な経歴

- |       |     |                                    |
|-------|-----|------------------------------------|
| 昭和39年 | 12月 | 岡山県倉敷市水島に「水島ガラス」を創業                |
| 昭和41年 | 2月  | 倉敷民藝館・外村吉之介初代館長が「倉敷ガラス」と命名         |
| 昭和42年 | 6月  | 天満屋岡山店で初の個展                        |
| 昭和45年 | 10月 | 大原美術館東洋館にステンドグラスを納入                |
| 昭和53年 | 9月  | 第8回世界クラフト会議京都大会に参加・発表              |
| 昭和55年 | 7月  | 第9回世界クラフト会議ウィーン大会に参加               |
| 昭和56年 |     | 京都国立近代美術館「現代ガラスの美—ヨーロッパと日本—」<br>出展 |
| 昭和60年 |     | 岡山市立オリエント美術館「吹きガラスの歴史展」出展          |
| 平成3年  | 7月  | 総理官邸文化懇親会に招待される                    |
| 平成8年  | 4月  | 倉敷芸術科学大学芸術学部教授（平成16年まで）            |
| 平成8年  | 4月  | 倉敷民藝館評議員（現在に至る）                    |

## 2 功績の概要

氏は、「民芸のまち倉敷」を代表する民芸品の一つである「倉敷ガラス」の創始者であり、機械工程の中で失われていったガラスの温かみを取り戻し、柳宗悦、外村吉之介らの提唱した「民芸の美」として体現した功績が顕著である。

一つ一つを丁寧に口吹きで制作、それぞれが違う表情と味わいを持つ「倉敷ガラス」は、倉敷民藝館初代館長の外村吉之介氏の命名によるものであり、イギリス人陶芸家のバーナード・リーチからも高い評価を得るなど、その作品は県内外で広く評価されており、平成5年には文化庁地域文化功労賞、平成18年には岡山県文化賞を受賞し、今日に至っている。

また、平成8年から平成16年まで倉敷芸術科学大学芸術学部教授として後進の指導にあたるなど、氏が、本県文化の振興に果たしている功績は誠に顕著である。

# 三木記念賞

倉敷市幸町

ながやま かつみ

永山克巳(82歳)

## 1 主な経歴

昭和28年	3月	大阪大学医学部卒業
昭和33年	4月	永山医院開設
昭和51年	4月	岡山県医師会理事(昭和63年3月まで)
昭和63年	4月	岡山県医師会副会長(平成6年3月まで)
昭和63年	9月	岡山県医療審議会委員(平成12年3月まで)
平成6年	4月	岡山県医師会会長(平成12年3月まで)
平成6年	4月	岡山県精神保健福祉審議会委員(平成12年3月まで)
平成6年	4月	岡山県健康づくり財団理事長(平成12年3月まで)
平成12年	10月	岡山県公安委員(平成18年9月まで)
平成13年	10月	岡山県公安委員会委員長(平成14年9月まで) (平成16年10月から平成17年9月まで)

## 2 功績の概要

氏は、昭和51年から平成12年までの24年間にわたり、医師会役員、副会長、会長として、卓越した理念とたくましい実行力と優れた統率力をもって会員の指導にあたり、医学医術の研鑽、医倫理の実践を推進し、医道の昂揚に努めるとともに、3,000余名の岡山県医師会員と行政が一体となって、健康教育活動、成人病予防活動、へき地医療活動、学校保健活動及び公害防止活動を実施するなど、県民の健康福祉の増進活動や救急災害医療体制作りを強力に推進した。

また、昭和33年に永山医院を開設し、現在まで、永年にわたり地域住民の健康保持、疾病治療に努め、労を惜しまず住民の健康増進のため心血を注いで医療に取り組む姿は、地域住民から篤い信頼を寄せられている。

さらに、平成12年から平成18年までの6年間岡山県公安委員会委員として、県民が安全で安心して暮らせるまちづくりに努め、この間、2期2年間は、委員長として、警察行政への県民の意思の反映、警察の民主的運営や政治的中立の確保に尽力した。

また、岡山県医療審議会委員等、各種医療関係審議会の委員として、医療行政、医学の進歩、医療の充実強化、保健衛生の発展と適正化に努め、県民のための保健衛生の向上に尽力した功績は誠に顕著である。



# 三木記念賞

新見市新見

なんば まさよし

難波正義 (76歳)

## 1 主な経歴

昭和36年	3月	岡山大学医学部卒業
平成2年	4月	岡山大学医学部教授 (平成13年3月まで)
平成8年	5月	日本組織培養学会会長 (平成13年5月まで)
平成11年	4月	岡山大学医学部長 (平成13年3月まで)
平成14年	4月	新見公立短期大学学長 (現在に至る)
平成16年	1月	日本癌学会名誉会員 (現在に至る)
平成17年		財団法人岡山医学振興会理事長 (現在に至る)
平成19年	5月	日本組織培養学会名誉会員 (現在に至る)
平成20年	4月	新見公立短期大学理事長 (現在に至る)
平成20年	5月	独立行政法人大学評価・学位授与機構短期大学機関別認証評価委員会委員 (現在に至る)
平成20年	5月	全国保育士養成協議会常任理事及び中・四国保育士養成協議会会長 (平成22年5月まで)
平成22年	4月	新見公立大学学長、理事長 (現在に至る)
平成22年	4月	全国公立短期大学協会副会長 (現在に至る)

## 2 功績の概要

氏は昭和36年に岡山大学医学部を卒業後、同大学医学部の助手、助教授、川崎医科大学助教授を経て岡山大学教授を務め、その間は研究者として多くの新しい発見を成し遂げる傍ら、学生の教育にも強い熱意を注ぎ、育てられた研究者、医師は現在岡山をはじめ日本全国で指導的な役割を担っている。

氏が岡山大学在職中に発見した腫瘍抑制遺伝子 (REIC) については、岡山大学発のベンチャービジネス (桃源社) の立ち上げのシードとなったほか、この遺伝子を用いた前立腺ガン治療の臨床試験が既に始まるなど、大いに注目を集めている。

また、氏は研究のみならず、永年にわたり、岡山大学医学部、川崎医科大学、新見公立大学で教育に携わり、いずれの大学においても積極的な教育改革を行い、各大学の活性化に貢献してきた。

平成11年4月に岡山大学医学部長に就任後は、医学部と歯学部が統合した大学院医歯学総合研究科を創設し、大学院教育の充実化、教育研究の一層の効率化、活性化を実現した。

さらに、平成14年4月から、新見公立短期大学の学長として、県北地域の教育にも力を注ぎ、地域看護学専攻科の新設や4年制の新見公立大学看護学部看護学科の創設など、目覚ましい改革・発展を成し遂げた。現在、学生は全国から集まっており、高齢化・過疎化に悩む新見地域の活性化にも大きく貢献している。氏が本県における医学の発展や医療・福祉教育の充実に貢献した功績は誠に顕著である。

# 三木記念助成金

名 称 岡山県少年少女合唱連盟  
代表者 理事長 棚田 国雄  
所在地 岡山市中区山崎 3 7 8

## 1 概 要

加盟団体の相互の連絡及び親睦を図りつつ、演奏会の毎年開催等精力的な合唱活動を通じて岡山県における青少年の文化活動の振興に寄与することを目的とする。

## 2 業 績

岡山県少年少女合唱連盟は、昭和51年に津山、桃太郎、倉敷及び岡山の県内4つの少年少女合唱団によって結成され、現在は17合唱団が加盟し、昨年35周年を迎えた。毎年、県内各地を演奏会で巡り、加盟団体の交歓演奏や指導者の相互研究を行うなど、長きにわたって、精力的に合唱活動を行ってきた。

第10回の演奏会では、瀬戸大橋開通を記念して合唱組曲「岡山に生きる」を演奏した。第20回演奏会では合唱組曲「虫の絵本」を演奏し、好評を博した。「虫の絵本」はその後、全国的に愛唱されるようになった。第30回演奏会では、「晴れの国おかやま国体」の協賛として「希望の岡山」を演奏した。35周年には、第25回国民文化祭・おかやま2010「合唱の祭典」の主催者の一団体として熱演し、閉会式では、「文化爛漫宣言」を高らかに宣言するなど、その合唱活動を通じて青少年の文化活動の振興に貢献した功績は誠に顕著である。

# 三木記念助成金

名 称 国際貢献大学校運営機構  
代表者 理事長 的野 秀利  
所在地 新見市哲多町本郷688-1

## 1 概 要

公設国際貢献大学校の指定管理者等として、国際貢献活動に携わる人材を育成するとともに、大学校が組織している「ももたろう国際救援隊」により、国内外の大規模災害に際して、関係機関と連携し、被災地の復興に尽力している。

## 2 業 績

公設国際貢献大学校の指定管理者等として、同校の運営に携わり、「国際救援活動要員養成講座」など、国際協力・貢献活動を行う専門家の養成、国際ボランティアの養成、国際理解教育、環境学習等の研修事業を実施し、国際的な人道支援に携わる人材を育成してきた。

特に、「国際救援活動要員養成講座」の修了者の中から希望者を登録し、組織している「ももたろう国際救援隊」は、スマトラ沖地震（H16）、四川大地震（H20）、ハイチ大地震（H22）に加え、本年3月に発生した東日本大震災等の国内外の大規模災害に際して、県と連携し、物資の提供や救援隊の派遣等被災地で専門性を生かした支援活動を行い、被災地の復興に尽力した功績は誠に顕著である。

## 特別会計の見直しについて

### 1 見直しの視点

特別会計を設置して処理している事業について、事務の効率化・簡素化、財源確保等、以下の視点から検証。

- ①設置意義：情勢の変化により特別会計設置の意義が薄れているもの
- ②会計規模：規模が小さいなど一般会計で行うことで事務の効率化ができるもの
- ③剰余金の有無：事業実施に影響がない剰余金があるもの

### 2 見直しを行う特別会計

#### 【特別会計を廃止して一般会計で事業を行うもの】

設置根拠が法令によるものを除く特別会計のうち、以下の4特別会計

- ・心身障害者扶養共済制度特別会計
- ・就農支援資金貸付金特別会計
- ・農林水産総合センター農業研究所実験農場特別会計
- ・県立高等学校実習経営特別会計

#### 【剰余金を一般会計へ繰り出すもの】 以下の4特別会計

- |                  |        |
|------------------|--------|
| ・中小企業支援資金貸付金特別会計 | 0.13億円 |
| ・公共用地等取得事業特別会計   | 4億円    |
| ・収入証紙等特別会計       | 4億円    |
| ・用品調達特別会計        | 0.3億円  |

### 3 見直し効果見込額

約8.43億円

※その他、廃止する特別会計の剰余金が一般会計に繰り入れられる見込み（金額未定）

### 4 特別会計廃止時期

平成24年4月1日

# 特別会計の状況

## 平成22年度の状況

(単位:千円)

部局	特別会計名	設置根拠	会計種別	歳入決算見込額	歳出決算見込額	実質収支額	歳入のうち一般会計繰入金	見直しの視点
保福	母子寡婦福祉資金貸付金	法令	普通	173,711	82,643	91,068	5,087	
保福	心身障害者扶養共済制度	条例	普通	236,716	229,359	7,357	2,588	②
農水	就農支援資金貸付金	条例	普通	470,166	277,639	192,527	554	①②
農水	県営食肉地方卸売市場	法令	公営	1,251,602	1,249,413	2,189	1,158,521	
農水	造林事業等	条例	普通	65,257,785	65,244,342	13,443	1,355,677	
農水	農林水産総合センター 農業研究所実験農場	条例	普通	41,848	9,840	32,008	0	②
農水	林業改善資金貸付金	法令	普通	937,211	761,448	175,763	550	
農水	沿岸漁業改善資金貸付金	法令	普通	238,085	53,714	184,371	2,592	
産労	中小企業支援資金貸付金	法令	普通	4,120,175	1,823,017	2,297,158	0	③
産労	内陸工業団地及び 流通業務団地造成事業	法令	公営	1,387,766	1,385,854	1,912	937,761	
総務 県生 土木	公共用地等取得事業	条例	普通	3,026,406	2,143,281	833,606	1,996,941	
	うち総務分	条例	普通	96,723	96,723	0	77,806	
	うち県生分	条例	普通	409,673	406,474	3,199	237,743	
	うち土木分	条例	普通	2,520,010	1,640,084	830,407	1,681,392	③
土木	後楽園	条例	普通	270,697	247,093	23,604	0	
県生 土木	港湾整備事業	法令	公営	5,054,728	4,113,958	940,770	1,447,461	
	うち県生分	法令	公営	422,436	415,375	7,061	402,925	
	うち土木分	法令	公営	4,632,292	3,698,583	933,709	1,044,536	
土木	流域下水道事業	法令	公営	8,629,619	4,805,810	3,783,109	814,584	
教育	県立高等学校実習経営	条例	普通	191,650	107,692	83,958	0	②
総務 出納	収入証紙等	条例	普通	7,692,189	7,168,802	523,387	129,726	
	うち総務分	条例	普通	3,845,238	3,845,238	0	28,393	
	うち出納分	条例	普通	3,846,951	3,323,564	523,387	101,333	③
出納	用品調達	条例	普通	1,388,614	1,348,646	28,628	0	②③
総務	公債管理	条例	普通	186,893,457	186,893,457	0	100,165,197	
合 計				287,262,425	277,946,008	9,214,858	108,017,239	

…今回見直しを行ったもの

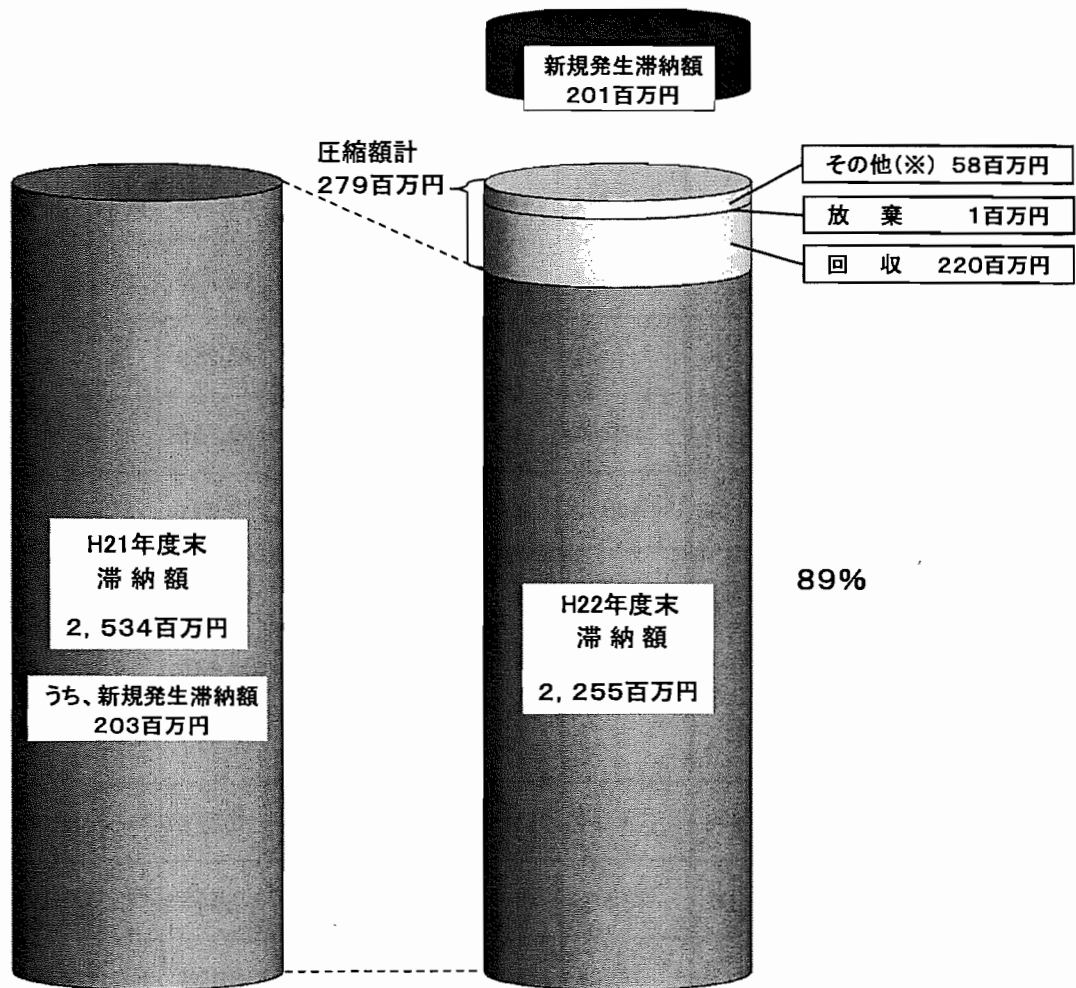
## 税外滞納債権の状況について

○ 税以外の債権(貸付金、奨学金、使用料等)の滞納の状況

H21年度末  
2,534百万円(100%)

⇒

H22年度末  
2,456百万円(97%)



※ 「その他」は、時効の完成、貸付金の返還免除に関する条例の適用等による不納欠損など

税外滞納債権の滞納状況（債権毎の内訳（1,000万円以上のもの））

単位：千円

部局	債権名	H21末残高		滞納圧縮額の内訳（H22）				AのH22末残高		H22増加分		H22末残高	
		A	件数	回収済 a	件数	放棄・その他 b	件数	B=A-(a+b)	件数	C	件数	B+C	件数
収入未済額 1,000万円以上債権(H22)													
県民生活部	低所得者生業・修学資金貸付金	154,443	500	2,364	97	12,707	35	139,372	457			139,372	457
	自立促進資金貸付金	39,213	124	498	25	386	1	38,329	122	821	8	39,150	123
環境文化部	弥高山の代執行経費	179,551	1					179,551	1			179,551	1
	放置産廃撤去事業	74,266	1					74,266	1	25,000	1	99,266	1
保健福祉部	母子・寡婦福祉資金貸付金	73,384	212	7,563	143	222	3	61,862	168	8,089	105	69,951	191
						3,737	6						
	児童保護弁償金	74,121	360	1,612	48	19,324	154	53,185	308	9,472	110	62,657	341
	生活保護費返還金	12,744	33	235	6	1,782	3	10,727	28	1,125	11	11,852	36
産業労働部	中小企業設備近代化資金貸付金	16,122	11	1,487	8	1,883	1	12,752	9			12,752	9
	中小企業高度化資金貸付金	839,578	6	98,853	6			740,725	5			740,725	5
農林水産部	農業改良資金貸付金	162,532	28	29,173	25	798	1	132,561	25	25,245	16	157,806	25
土木部	住宅使用料	117,416	1219	33,248	662	10,373	44	73,795	516	29,750	561	103,545	906
	港湾使用料	37,888	1	8,462	1			29,426	1	3,595	1	33,021	1
	宇野港野積場使用料	9,877	1					9,877	1	3,120	1	12,997	1
警本部	放置違反金	10,696	688	4,380	281	45	3	6,271	405	4,404	281	10,675	686
教育庁	高等学校貸付奨学金	15,453	201	1,500	72			13,953	187	11,072	253	25,025	286
	地域改善対策奨学金	655,422	1713	18,804	356	1,190	4	635,428	1612	69,983	1201	705,411	1746
小計		2,472,706	5099	208,179	1730	222	3	2,212,080	3846	191,676	2549	2,403,756	4815
収入未済額 1,000万円未満債権(H22)													
その他41債権		61,630	470	11,751	172	936	2	42,745	264	9,903	329	52,648	563
						6,198	98						
				放棄									
合計		2,534,336	5569	219,930	1902	1,158	5	2,254,825	4110	201,579	2878	2,456,404	5378
						58,423	350						

注1) 件数は、主債務者の数としている。

注2) 件数は、一部回収等があるため、集計は合わない。

## 個人住民税徴収対策会議の開催について

県と市町村が連携して個人住民税の徴収対策を進めるため、個人住民税徴収対策会議を次のとおり開催します。

### 1 名称

個人住民税徴収対策会議

### 2 構成員

県副知事、各市町村副市町村長

### 3 目的

平成19年の税源移譲以降、個人住民税の滞納が累増しており、その徴収対策は、県・市町村いずれにとっても喫緊の課題であり、県副知事、副市町村長を構成員とする会議を開催し、県、市町村全体としての取組を行っていく。

### 4 期日

平成23年8月26日（金）15:00～16:00

県庁3階 大会議室

### 5 内容

- (1) 個人住民税特別徴収の推進について
- (2) 個人住民税滞納処分の徹底について
- (3) 今後の取組について



# 総務委員会資料

	頁
○中山間地域等活力創出支援事業の主な実施状況について ……	1
○交流・定住施策の実施状況について ……	9
○平成23年秋の交通安全県民運動の実施について ……	11

平成23年8月24日

県民生活部

## 中山間地域等活力創出支援事業の主な実施状況について

中山間地域の活性化を図るため、次の事業により、ソフト・ハードの両面から重点的・効果的に施策を推進している。

### 1 地域活力創出事業（別紙1参照）

県民局が、地域の課題やニーズを踏まえ、市町村や商工団体、農業団体等と連携しながら地域産業の振興など地域活力の創出に取り組んでいる。

<主な取組内容>

- ・ **備前おかやま売れるモノづくり応援事業（備前県民局）**  
管内の優れたモノづくり企業・団体等の商品開発力の向上と首都圏での販路拡大を図るため、セミナーやテストマーケティング等を実施する。
- ・ **備中地域産業振興事業（備中県民局）**  
備中地域ならではの地域資源を活用して開発された特産品等の販路開拓等を支援するとともに、企業展の開催により管内企業のPR、異業種間のネットワーク構築を推進する。
- ・ **美作農産品需要拡大事業（美作県民局）**  
「作州黒」の一層の需要拡大に向け、アジア等海外の新市場への進出に関する調査・研究、出荷規格外枝豆を活用した加工品開発等を行う。

### 2 おかやま元気！輝く中山間地域づくり事業

#### (1) おかやま元気！集落支援事業

小規模高齢化集落など単独では集落機能の維持が困難な集落について、周辺の複数の集落が連携し広域的に支えあうため、小学校区、大字等の単位で新たな地域運営組織を設け、集落機能の維持・強化に取り組む地域を「おかやま元気！集落」として、中山間地域の活性化の原動力と位置づけ、その活動を支援している。

11市町24地域（平成23年8月24日現在の登録状況：別紙2参照）

<「おかやま元気！集落」の主な活動内容>

- ・ **井原市池井地域**  
農業体験（芋植え・収穫）を通して地域住民と都市住民との交流を図ることを目的とした交流・体験イベントを実施している。
- ・ **真庭市富原地域**  
地元の特産品を広く紹介し、基幹産業である農林業の再生及び活性化を図るため、地元出身者等にふるさとの懐かしい味と香りを届ける「ふるさと小包便」事業を実施している。

- ・ 真庭市別所小学校区

醍醐桜の下等でバイオリン演奏会を開催し、その収益で、醍醐桜の保存と高齢化対策、子育て支援、歴史・文化の継承など課題解決に向けた取組を行い、地域の活力アップに取り組んでいる。

## (2) 中山間地域協働支援センター事業

中山間地域の活性化に資する人材の育成や、NPO、大学、企業等多様な主体のネットワークづくりを進め、活性化の取組のすそ野の拡大を図るほか、「おかやま元気！集落応援団」を設け、集落の活動を支援している。

### <主な活動内容>

- ・ 中山間地域リーダー養成講座の開催

開催日：平成23年6月2日（木）

参加者：住民、学生、行政関係者等33人

内 容：助け合いや居場所づくりについて学ぶとともに、ワークショップを通じて助け合いの仕組みを体験する。

講 師：宇野均恵氏（NPO法人子ども劇場笠岡センター）

- ・ おかやま元気！集落アドバイザー養成講座の開催

開催日：平成23年7月10日（日）

参加者：集落支援員、学生、行政関係者等25人

内 容：コミュニティ支援の基本的な考え方、手順等について学ぶとともに、ワークショップを通じて集落支援の方法を体験する。

講 師：竹久佳恵氏（NPO法人AMD A社会開発機構）

- ・ 大学生・中山間地域サポーターズ・カフェの開催

（第1回）

開催日：平成23年6月19日（日）

参加者：大学生7人

内 容：美咲町倭文西地区で田植えを体験するとともに、ワークショップを開催し地元の方々との意見交換を行った。

（第2回）

開催日：平成23年8月6日（土）

参加者：大学生9人

内 容：吉備中央町でブルーベリー摘みを体験するとともに、同町旧高富小学校区でワークショップを開催し地元の方々との意見交換を行った。

（第3回：予定）

開催日：平成23年9月17日（土）、18日（日）

参加者：未定

内 容：津山市阿波地域の3世代交流イベント（運動会）に参加するとともに、ワークショップを開催し地元の方々との意見交換を行う。

## (3) おかやま元気！集落応援団事業

NPO、大学、企業等を「おかやま元気！集落応援団」として岡山県中山間地域協

働支援センターに登録し、「おかやま元気！集落」等からの要望に基づき、応援内容、人員、日程等の調整を行った上で、登録した団体をボランティアとして地域活動の応援に派遣している。

### 8 団体（平成23年8月24日現在の登録状況）

#### <活動内容>

平成23年8月20日（土） 吉備中央町旧高富小学校区に応援団4組6人を派遣し、道の駅かもがわ円城で開催された夏祭りの応援を行った。

### 3 頑張る地域応援事業

中山間地域の主体的、自立的な地域づくりを促すため、市町村が実施する地域の資源を生かした創意工夫あふれる取組について積極的に支援している。

#### <採択状況>（別紙3参照）

（単位：件、千円）

区 分	市町村数	事業数	事業費	配分額
合 計	7 (2)	8 (3)	35,726 (12,288)	13,112 (4,415)
安全・安心な暮らしの確保に向けた取組	6 (2)	6 (2)	21,476 (2,058)	7,497 (800)
経済基盤の確立に向けた取組	1 (0)	1 (0)	4,020 (0)	2,000 (0)
交流・定住の促進に向けた取組	1 (1)	1 (1)	10,230 (10,230)	3,615 (3,615)

※下段の（ ）内は、おかやま元気！集落関連

#### <主な採択事業>

- ・ 草間台エコミュージアム推進支援事業（新見市）  
貴重な動植物の宝庫である草間台地全体を「エコミュージアム」と位置付け、地域住民が環境資源を保存・育成するための拠点として、廃校となった旧草間中学校を改修し、「草間台エコミュージアムセンター」を整備する。
- ・ 津山市農商工連携推進事業（津山市）  
つやま新産業創出機構等の調査研究を活用し、「津山市農商工連携推進計画」を策定するとともに、美作大学と連携して地域の特産物を活用した商品開発や農業・商工業団体が連携した物産展の開催等により、地域産業の振興を図る。
- ・ 美作市定住促進事業（美作市）  
「おかやま元気！集落」の梶並小学校区内で空き家2件を「お試し住宅」として整備するとともに、入居者の生活や就農等のサポートを梶並地区活性化推進委員会に委託することにより、定住を促進する。

## 平成23年度地域活力創出事業一覧(備前県民局)

	事業名	事業内容	事業費 (単位:千円)
1	備前おかやま売れるモノづくり応援事業	管内の優れたモノづくり企業・団体等(備前焼をはじめとする工芸品、加工食品、地酒等)の商品開発力の向上と首都圏での販路拡大を図るため、セミナーやテストマーケティングを実施するとともに、岡山駅前広場で農産加工品等の即売会を開催する。	7,000
2	備前ジビエ創出事業	イノシシやシカの肉を使った新たな「備前ジビエ」を創出し、フランス料理店でのメニュー化や試食会等によるPRを通じて、ジビエ料理等の普及・定着を図る。	3,000
3	ソーシャルビジネスチャレンジ応援事業	サポートチームを立ち上げ、ソーシャルビジネスの普及啓発等を行うとともに、NPO等のソーシャルビジネスへの新規進出・事業拡大を支援し、ソーシャルビジネスによる社会的課題解決の普及を図る。	3,400
4	まちぷら備前岡山事業	県・市町・観光協会で構成する「来てみらえ! 備前おかやま再発見プロジェクト委員会」を活用し、民間・行政との協働で、「まち歩き」コースの企画・商品化を行うとともに情報発信に努め、誘客の促進と地域の活性化を図る。	2,500
5	地域支え合い・ふれあいサロンづくりモデル事業	NPO、自治会、社会福祉協議会、市町等が参画し、子育て中の親子、高齢者、障害者などが、交流し、支え合うことのできる「集いの場(地域支え合い・ふれあいサロン)」の設置を促進する。	1,600
6	ルネス・ミュージックカフェ事業	ルネスホールにおいて、管内農林水産物を食材とした地産地消料理等と県内演奏家等の生演奏に楽しむことができるミュージックカフェを開催する。	1,500
7	地域社会の連帯感・きずなの強化事業	犯罪の起きにくい社会の実現を目指し、市町や警察と連携し、地域社会の連帯感やきずなの強化を図る取組を支援する。	1,000
合計 7件			20,000

※事業費は現時点のものであり、今後変更する可能性がある。

平成23年度地域活力創出事業一覧(備中県民局)

	事業名	事業内容	事業費 (単位:千円)
1	備中地域産業振興事業	<p>1 商工団体、農業団体等と連携し、備中地域ならではの地域資源を活用して開発された特産品等の課題（販路拡大が進まないなど）に対して、専門のアドバイザーによる商品のブラッシュアップ、見本市への出展など販路開拓等の支援により、売れ筋商品化を図る。</p> <p>2 地域づくり団体、商工団体、大学等と連携・協働し、備中局管内の様々な業態の企業等を一堂に紹介する企業展を開催し、個々の企業等の商品・製品・技術力をPRする。その際、学生をスタッフとして参加させることで地場産業に対する理解を深めさせ、地元企業への就職を促進する。加えて、参加企業等による交流の場を設け、異業種間のネットワークを構築することで新たな商品開発へのきっかけづくりとする。</p>	7,500
2	中山間地域支え合い安全安心推進事業	<p>1 県内の医療従事者養成大学等の学生に、中山間地域等医療過疎地域での住民との交流を通じた健康教育や地域医療等の実践体験をさせることにより、中山間地域における医療活動への理解促進を図る。</p> <p>2 買い物支援、配食サービスや安否確認などの日常生活支援が、持続可能なソーシャルビジネスとして確立できるよう、市町村と協力しながら調査研究を進める。</p>	2,500
3	「強み」を生かした備中地域の観光振興事業	<p>1 備中地域の観光資源には、倉敷美観地区、吹屋等の「まちなみ」、笠岡ラーメン、鴨方手延べそうめん・うどん、千屋牛ラーメンなどの「麺」、備中杜氏が醸し出す「備中の酒」といった「強み」がある。これらの「強み三素材」を活かした広域観光ルートを設定することにより備中地域の観光面での魅力を向上させ、これらを全国へ情報発信するとともに、今秋オープン予定の大型商業施設等への買い物客等に対して売り込みを行うことで観光客の増加を図る。</p> <p>2 「まちなみ」については、保存団体のネットワーク化を図るとともに、魅力をより高めるための活動に対する支援を行う。</p>	4,000
4	備中地域における小水力発電推進事業	<p>総合政策局での調査結果を踏まえ、小水力発電の適地に実際に小水力発電機を設置し実証実験を行う。</p> <p>23年度には、市町と協力してモデル地点を選定し、小水力発電設置のための調査を行い、24・25年度に実証実験を行う。実験を通じて得られた経済性や二酸化炭素削減量等の評価を広く発信することで、小水力発電の普及を推進する。</p>	4,000
5	防災力・防犯力強化事業	<p>1 震災の発生以来、行政及び民間が被災地への様々な人的派遣を行ってきた。そういう方々の現地での活動報告をもとに、被災地の現状や課題等をふまえた災害支援のあり方について意見交換するとともに、県民に災害対応の重要性を啓発し、地域防災力の強化につなげる。</p> <p>2 地域社会で行われる連帯感の醸成・きずなづくりにつながる取組を促進する。</p>	2,000
合計 5件			20,000

※事業費は現時点のものであり、今後変更する可能性がある。

平成23年度地域活力創出事業一覧（美作県民局）

	事業名	事業内容	事業費 (単位:千円)
1	美作農産品需要 拡大事業	ブランド化の進む「作州黒」の一層の需要拡大に向け、市町村や農協と連携し、アジア等海外の新市場への進出に関する調査・研究、新たな栽培技術の実証・普及、出荷規格外枝豆を活用した加工品開発等を実施する。 また、農商工連携等で開発された農産加工品の販路拡大を図る。	4,000
2	美作地域における木質バイオマス利活用検討事業	林業・木材関係者、地域活性化に取り組む商工業者等と連携し、豊かな森林資源を有する美作地域での木質バイオマスの利活用促進に向けた調査研究を行う。	1,000
3	鳥獣害対策とジビエ料理への展開事業	美作地域の被害実態に応じ、市町村、関係機関・団体等と連携した学習、講習会の開催やモデル集落の育成等を実施することにより、鳥獣害被害の低減に向けた支援を行い、農林業者の生産意欲向上を目指す。 また、捕獲鳥獣をジビエ料理に利活用するための課題等を調査・研究し、新たな地域資源としての展開を図る。	3,000
4	美作地域産業活性化調査事業	市町村、関係団体、有識者とともに、地域の実情に即した産業振興や雇用対策等につなげるため、まずは、管内商工団体や県産業振興財団等と連携し、地域産業の活性化、雇用拡大、新エネルギー関連や農商工連携等による新産業集積を図るための調査事業を実施する。	4,000
5	「美作国建国1300年」魅力発信事業	平成25年に、「美作国建国1300年」を迎えることから、今後、地元市町村等による実行委員会が発足する予定であり、市町村や同実行委員会等と連携しながら、地域力を結集し、美作地域の特色ある歴史や文化、豊富な観光資源等を生かして、美作地域が一体となった魅力の発信に取り組む。	3,000
6	地域伝統文化保全モデル事業	横仙歌舞伎等の地歌舞伎をモデルとして、地域の伝統文化を守り、後継者を確保、育成しながら後世に伝える取組を実施する。 併せて、伝統文化の継承を地域コミュニティの機能強化に生かす取組として情報発信する。	3,000
7	コミュニティビジネス創出支援事業	NPO、地域グループ（「おかやま元気！集落」等）、事業者、大学関係者等を構成員とする研究会を組織し、コミュニティビジネス（CB）のノウハウ研究、地域ニーズの抽出、ビジネスモデルの検討等を行い、中山間地域に残る人々の絆を生かしたCBの創出を目指す。	1,000
8	地域社会の連帯感・きずなの強化事業	地域社会の連帯感やきずなを強化し、地域に根付かせるための取組を支援する。	1,000
合計 8件			20,000

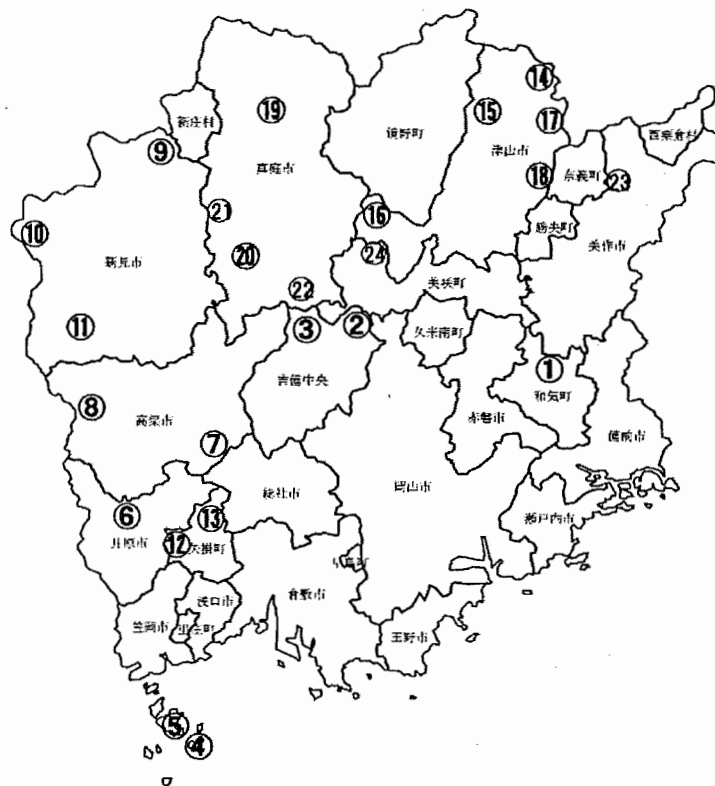
※事業費は現時点のものであり、今後変更する可能性がある。

## おかやま元気！集落の状況

H23.8.24現在 24地域

県民局	番号	地域名(市町村名)	地域の単位	集落数	戸数	人口(人)	高齢化率(%)
備前局	①	◎ 丸山・南山方(和気町)	自治会	2	55	115	47.8
	②	◎ 旧高富小学校区(吉備中央町)	小学校区	3	118	240	55.4
	③	旧新山小学校区(吉備中央町)	小学校区	6	252	536	46.1
備中局	④	◎ 真鍋島(笠岡市)	小学校区	2	163	289	60.6
	⑤	北木島町(笠岡市)	その他(島全域)	4	654	1,104	60.2
	⑥	◎ 池井(井原市)	自治会	12	64	156	57.1
	⑦	◎ 玉川町増原・下切(高梁市)	大字	13	81	141	64.5
	⑧	備中町平川(高梁市)	その他(コミュニティ)	24	278	561	58.8
	⑨	◎ 大佐大井野(新見市)	大字	6	90	248	48.4
	⑩	神郷油野三室(新見市)	自治会	3	28	78	52.6
	⑪	哲多町大田(新見市)	自治会	13	207	500	38.0
	⑫	山ノ上集落(矢掛町)	自治会	3	24	49	65.3
	⑬	下高末集落(矢掛町)	自治会	6	84	260	33.5
	美作局	⑭	阿波地域(津山市)	連合町内会の支部	8	225	624
⑮		新加茂地域(津山市)	連合町内会の支部	8	597	1,512	36.8
⑯		大井西地域(津山市)	連合町内会の支部	3	429	1,214	33.4
⑰		上加茂(津山市)	連合町内会の支部	5	295	741	41.0
⑱		◎ 二川地域(真庭市)	小学校区	22	235	609	46.1
⑳		別所小学校区(真庭市)	小学校区	9	100	254	52.0
㉑		富原地域(真庭市)	小学校区	42	530	1,458	41.6
㉒		上田地域(真庭市)	小学校区	19	159	356	53.4
㉓		◎ 梶並小学校区(美作市)	小学校区	6	409	803	55.7
㉔		◎ 倭文西(美咲町)	その他(旧村)	51	368	987	40.5

(注) ◎:モデル地域





## 平成23年度頑張る地域応援事業 第1次採択事業一覧

## 1 安全・安心な暮らしの確保に向けた取組

(単位：千円)

市町村	事業名	事業内容	事業費	補助額
1 高梁市	備中松山踊り次世代継承事業	伝統文化である「備中松山踊り」を広く子どもたちに伝えるため、踊り方の指導や踊りのDVD等の配布を行うことにより、地域の文化を伝え、郷土愛を醸成するとともに、観光振興や地域の活性化を図る。	956	477
2 新見市	草間台エコミュージアム推進支援事業	貴重な動植物の宝庫である草間台地全体を「エコミュージアム」と位置付け、地域住民が環境資源を保存・育成するための拠点として、廃校となった旧草間中学校を改修し、「草間台エコミュージアムセンター」を整備する。	15,000	4,547
3 美作市	梶並地区活性化推進事業 ※おかやま元気！集落関連	「おかやま元気！集落」の梶並小学校区において、地域内外の交流を深めるため、荒廃した農地の復旧や特産品の開発、かまくらファンタジー等の各種イベントや一人暮らし高齢者の憩いの場の提供などを実施し、地域の活性化を推進する。	900	450
4 和気町	本荘地区多目的広場整備事業	地域住民と町職員が協働で多目的広場を整備し、世代間交流イベントを実施することにより、地域内及び世代間の交流を促進する。	1,662	773
5 矢掛町	棚田・里山・干柿体験交流事業 ※おかやま元気！集落関連	棚田や里山を生かした事業を実施している下高末地区と、特産の干柿を生かした事業を実施している山ノ上地区の2つの「おかやま元気！集落」が連携して、都市住民との交流を促進するとともに、集落同士の交流を図る。	1,158	350
6 奈義町	奈義町コミュニティ力強化事業	上町川・滝本・荒内西・行方の4地区において、子どもから高齢者までが参加し、区内の危険箇所等の点検と防災防犯マップを作成することにより、地域の防災力・防犯力を高めるとともに、地域内の連携強化、世代間の交流を促進する。	1,800	900
小 計		6 件	21,476	7,497

## 2 経済基盤の確立に向けた取組

(単位：千円)

1 津山市	津山市農商工連携推進事業	つやま新産業創出機構等の調査研究を活用し、「津山市農商工連携推進計画」を策定するとともに、美作大学と連携して地域の特産物を活用した商品開発や農業・商工業団体が連携した物産展の開催等により、地域産業の振興を図る。	4,020	2,000
-------	--------------	---	-------	-------

## 3 交流・定住の促進に向けた取組

(単位：千円)

1 美作市	美作市定住促進事業 ※おかやま元気！集落関連	「おかやま元気！集落」の梶並小学校区内で空き家をお試し住宅として整備するとともに、入居者の生活や就農のサポート等を梶並地区活性化推進委員会に委託することにより、定住を促進する。	10,230	3,615
-------	---------------------------	--	--------	-------

合 計		8 件	35,726	13,112
-----	--	-----	--------	--------

## 交流・定住施策の実施状況について

都市住民の田舎暮らし志向が高まる中、過疎化・高齢化により、集落機能の低下、耕作放棄地の拡大等が進む中山間地域等において、交流・定住を促進することにより人材を誘致し、中山間地域の活性化を図る。

### 1 岡山の魅力発信

#### (1) 晴れの国ぐらし総合相談会「おかやま交流・定住フェア2011」

関西圏の住民に対して、本県での暮らし「晴れの国ぐらし」の魅力を発信するとともに、岡山へ移住・定住を考えている方に対して、きめ細かで総合的な相談の場を提供する。

日 時：平成23年9月3日(土) 10:00～15:00

場 所：AP梅田大阪（大阪市北区曽根崎新地）

内 容：晴れの国ぐらし相談コーナー、晴れの国ぐらしセミナー 他

#### (2) おかやま晴れの国ぐらし相談デスク

岡山へ移住・定住を考えている方に対して、きめ細かな相談対応や定期的なフォローアップを実施している。

日 時：平成23年 5月28日(土) 相談者15名 延べ相談件数21件

平成23年 6月25日(土) " 13名 " 15件

平成23年11月12日(土) (予定)

場 所：岡山県大阪事務所（大阪府中央区備後町）

内 容：住居、就労、就農などUIJターンの相談

#### (3) 中国四国もうひとつのふるさと探しフェアin大阪2011

中国四国9県がそれぞれの特色を生かしながら一体となり、関西圏の方々に、中国・四国地方での暮らしや魅力を発信し、都市部から農村等への移住・定住を推進する。

日 時：平成23年10月23日(日) 10:00～16:00

場 所：梅田スカイビル・タワーイースト36階（大阪市北区大淀中）

主 催：中国四国もうひとつのふるさと探しフェアin大阪2011実行委員会

内 容：移住・交流相談コーナー、移住・交流セミナー 他

#### (4) ふるさと回帰フェア2011（東京会場・大阪会場）

NPO法人ふるさと回帰支援センターが東京と大阪で開催する、「ふるさと回帰フェア2011」の自治体相談コーナーへ出展し、「晴れの国ぐらし」の魅力発信と相談対応により、本県への移住・定住を促進する。

(大阪会場)

日 時：平成23年9月17日(土) 10:00～17:00

場 所：シティプラザ大阪(大阪府中央区本町)

(東京会場)

日 時：平成23年9月23日(金:祝) 10:00～17:00

場 所：早稲田大学西早稲田キャンパス(東京都新宿区西早稲田)

## (5) 相談体制及び情報発信

本庁、各県民局、東京・大阪事務所及び全市町村に設置した相談窓口で、UIJターン希望者等からの様々な相談やニーズにきめ細かに対応するとともに、交流・定住ポータルサイト「おかやま晴れの国ぐらし」を通じて、積極的な情報発信を行っている。

## 2 受入体制の整備

### (1) 中山間地域等空き家流動化推進事業(ふるさと雇用再生特別事業)

定住促進のための空き家の活用に意欲を持って取り組む市町村の区域内における、現地調査、所有者の意向確認等を通じた空き家情報の収集を、民間団体に委託して実施し、市町村が登録する空き家物件情報の増加への支援を行っている。

委託期間：平成21年4月1日～平成24年3月31日

委託先：NPO法人コミュニティーデザイン アンド マネジメント ジャパン

調査予定地区：7市町25地区(平成23年度)

### (2) 空き家情報流通システム

市町村空き家バンクの空き家物件を取り扱う業者の決定から入居者決定までをシステム化することにより、取引等の利便性と安全性の向上を図る「空き家情報流通システム」を構築し、平成22年7月から運用を行っている。

現在までに、住宅関連団体((社)岡山県宅地建物取引業協会及び(社)全日本不動産協会岡山県本部)と個別協定を締結した9市町が参加しており、システムに掲載された9件の空き家情報のうち4件が成約している。

システム参加市町：岡山市、津山市、備前市、真庭市、美作市、和気町、  
矢掛町、鏡野町、奈義町

### (3) お試し住宅の整備(頑張る地域応援事業)

知らない地域へ移住することに不安を持つ定住希望者と、地域になじんでくれるか不安を抱く受入れ側の双方の不安を解消し、本県への定住促進をより効果的に実施するため、一定の期間、地域での暮らしを体験できる、いわゆる「お試し住宅」を市町村が整備する場合に助成を行う。

取組状況：美作市の梶並小学校区内で2戸を整備中

補助率：1/2(限度額1,750千円)



晴れの国ぐらし総合相談会

# おかやま交流・定住フェア2011

快適・便利・安心な岡山での暮らし。  
あなたも「晴れの国おかやま」で  
暮らしませんか？



## 晴れの国ぐらし相談コーナー

岡山県内の市町村、住宅関連団体などによる空き家や  
住まいの相談、岡山で働くための就職や就農の相談など  
地域と暮らしの情報がいっぱいのコーナーです。

## 晴れの国ぐらしセミナー

移住された方の体験談などを通して、移住に関する疑問に  
お答えするセミナーです。  
また、「地域おこし」について考えるプログラムもあります。  
移住までは関心はなくても、田舎に関心をお持ちの方  
のご参加大歓迎です。

## 来場者プレゼント

先着100組様に、清水白桃またはピオーネの  
コンポートをプレゼント！

## ピオーネ試食会開催

果物王国おかやまのジューシーなピオーネを  
ご賞味ください。



とき 平成23年9月3日(土)  
10:00~15:00

ところ AP梅田大阪  
大阪市北区曽根崎新地  
2-3-21axビル4F

TEL 06-6346-3001  
＜地下鉄四ツ橋線「西梅田」駅  
9番出口より徒歩1分＞



参加  
無料

お問い合わせ先

岡山県中山間・地域振興課  
おかやま交流・定住フェア担当

【TEL】086-226-7267  
【FAX】086-224-6195  
【E-MAIL】ujj@pref.okayama.lg.jp

# 晴れの国ぐらし相談コーナー

## 住まい

岡山県不動産協会・岡山県宅建業協会から、物件情報を提供するほか、住まいに関する様々な相談にお答えします。

## 就職

おかやまへのU/Iターン就職を希望する方、岡山県のUターン就職登録制度のご紹介や就労相談、各情報の提供を行います。

## ぐらし

岡山県ってどんなところ？岡山県商工会連合会が岡山への定住を希望の方に、地域の情報や、空き家情報などを提供します。

## 就農

専門の相談員が、新たに農業を始めたい方の就農に向けた研修制度や技術習得・資金・農地などの相談をお受けし、あなたの就農をサポートします。

## 市町村

市町村の担当職員が、地域の情報や、支援制度、市町村の「空き家バンク」の制度のご紹介と、空き家物件をご紹介などをします。また、分譲地などの住まいの情報や農地の情報、就職・就農のサポート情報なども。市町村によって相談体制・提供情報が異なりますので、下の市町村紹介をご参考ください。

### 真庭市

就職 住まい 空き家  
就農 農地

県内で最も大きな面積を誇る「真庭市」。夢も大きく「まにわ」で田舎暮らしを始めてみませんか？ 蒜山高原、醍醐桜など知名度メジャー級の観光地！ 市内5カ所のインターチェンジで近畿圏へのアクセスも抜群！ 移住を検討中の全ての方を応援します。

※しらうめ団地(個人住宅建設にかかる助成措置)

### 新見市

就農

U/Iターンを検討されている皆さん「新見」で新たな暮らし見つけてみませんか？ 新見市は若い世代から団塊の世代まで、就農を希望する全ての人を応援します！ さあ、新見で新しい一歩踏み出しましょう！！

※新見市新規就農者確保・育成事業

### 高梁市

就農 空き家 住まい 農地

高梁市は、「備中の小京都」として政治、経済、教育の中心地として栄えてきました。城と川と踊りのまち「たかはし」で、歴史ある風景や受け継がれた伝統とともに、自然と調和した暮らしをしてみませんか。

※高梁市定住促進住宅建設費等助成金

### 津山広域事務組合

就職

津山市、鏡野町、勝央町  
奈義町、久米南町、美咲町

津山圏域無料職業センターでは、津山圏域にU/Iターンを希望される方への職業紹介を行っています。美しく豊かな自然と暮らしのある岡山県北部津山圏域への定住に向けて、あなたの就職をサポートします。

### 美作市

住まい 就農 空き家

岡山県の北東部に位置し、大阪から車で2時間の位置にあり自然豊かなまちです。定住促進に力をいれており地元で馴染みやすい施策を実施しています。

### 久米南町

住まい

久米南町は、岡山県のほぼ中央に位置し、町の中心を南北に国道53号とJR津山線が通っています。法然上人ゆかりの誕生寺や、江戸時代の旧屋敷「治部邸」、久米南美しい森、273基の川柳句碑が立ち並ぶ「川柳の小径・公園」、昔の田園風景をほうふつさせる棚田など、見所がたくさんですよ。

※久米南町空き家活用促進補助金  
※久米南町分譲宅地購入等助成金

### 吉備中央町

就農 住まい 空き家

岡山県の中央に位置する吉備中央町。岡山自動車道が走り、岡山空港にもほど近く、教育、福祉、文化の中央を目指す吉備高原都市を擁する、まさに「おかやまのまんまんなかのまち」です。

※吉備中央町夢のある町定住奨励金

### 瀬戸内市

住まい 空き家

瀬戸内海に面し、穏やかな気候で自然豊かな瀬戸内市で暮らしませんか？ 関西方面からのアクセスもよく、「日本のエーゲ海」牛窓は、多島美で風光明媚。スローライフにぴったりです。

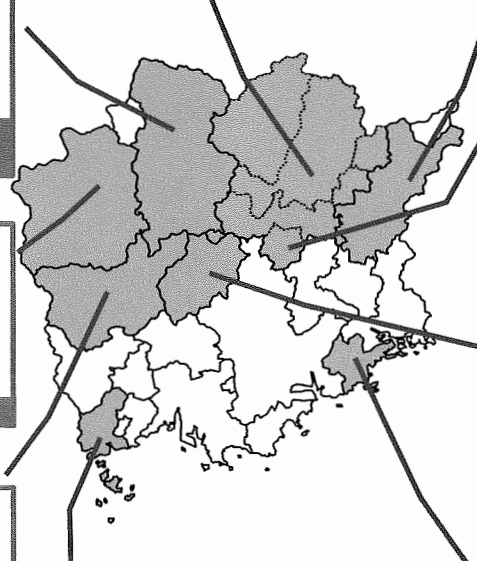
※瀬戸内市定住促進補助金

### 笠岡市

住まい 空き家

40歳以下の方が市内へ住宅を新築すると最大100万円、それ以外の方も新たな住宅取得で固定資産税が最大3年間優遇されます。空き家情報も充実。ぜひ、海の見えるまち笠岡市のブースへお立ち寄りください。

※住宅新築助成金交付制度  
固定資産税相当額一部助成金交付制度



# 晴れの国ぐらしセミナー

11:15~

## 「晴れの国ぐらし」体験談

黒川愛さん(真庭市:平成22年移住)  
旅行で真庭市の土地、人に魅かれ移住。  
現在、市の公務の他、NPOでも活躍中。

相田貴さん(吉備中央町:平成22年移住)  
自宅は空き家バンクを利用。ブドウ農家を志し、今春から農業実務研修をスタート。

米谷信義さん(新見市:平成17年移住)  
平成17年から県の研修を受講し、平成19年にブドウ農家として新規就農。

12:50~

## 「愛だ！上山棚田団」

### 溝掃除から始まった地域再生の取組

美作市上山の棚田再生活動の体験から、農村地域の現状と可能性、地域再生についてお話しいただきます。

西口和雄さん(美作市)  
大阪の同志と「英田上山棚田団」を結成、平成19年から棚田再生活動をスタート。平成21年からは「美作市地域おこし協力隊」として移住し、幅広く地域活動を展開。



黒川さん 相田さん 米谷さん 西口さん

13:40~

## 「晴れの国ぐらし」物件情報

住宅関連団体から、岡山で物件を探す際のポイント、注意することなど、家選びのノウハウを、県南部と県北部に分けてお話しいただきます。

## 平成23年秋の交通安全県民運動の実施について

### 1 目 的

広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止の徹底を図る。

### 2 期 間

- (1) 平成23年9月21日(水)から9月30日(金)までの10日間
- (2) 交通事故死ゼロを目指す日 9月30日(金)

### 3 主 唱

岡山県・岡山県交通安全対策協議会

### 4 スローガン

「交通ルール 守って広げる 無事故の輪」

### 5 運動の重点目標

- (1) 最重点目標  
子どもと高齢者の交通事故防止
- (2) 重点目標
  - ア 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止  
(特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底)
  - イ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
  - ウ 飲酒運転の根絶
  - エ 交差点における正しい通行の徹底

### 6 推進行事

- (1) 日 時 平成23年9月21日(水) 9:00～9:30
- (2) 場 所 県庁前広場
- (3) 主 催 岡山県、岡山県交通安全対策協議会、(財)岡山県交通安全協会
- (4) 参加者 交通安全関係者 約200名
- (5) 内 容
  - ・交通安全啓発資材の贈呈
  - ・激励の言葉
  - ・県警音楽隊による激励演奏及び交通安全への願い披露
  - ・みんなが無事故の輪 等